



教科書ぴったりトレーニング

〈啓林館版・ブルースカイ2年〉

この解答集は取り外してお使いください。



解答集



Unit 1

pp.6~7

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

(1)キャラクター (2)本棚 (3)敷物 (4)round
(5)poster (6)plant

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)There is, river (2)There are, girls,
room (3)There are, flowers, park

3 (1)Are there two bicycles under (2)No,
there are not(.) (3)Here is a new

考え方

1 (1)名詞が単数の a book なので、「～があります」は There is ～. で表す。(2)名詞が複数
の three apples なので、「～があります」
は There are ～. で表す。(3)名詞が単数の
a ball なので、「～がありますか」は Is there
～? で表す。

2 (1)「川のそばに 1 軒の家があります。」(2)「そ
の部屋に 3 人の女の子がいます。」(3)「その
公園にたくさんの花があります。」

3 (1)「自転車が 2 台ありますか」は Are there
～? で表す。「木の下に」は under the
tree。(2)Are there ～? の疑問文に「いい
え」と答えるときは No, there are not. と
する。(3)there を使わずに「ここに (1 つ
の)～があります」と表すときは Here is
a[an] ～. とする。

pp.8~9

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

(1)与える (2)悲しい (3)怒った (4)頭痛
(5)意気消沈して (6)hungry (7)news
(8)part (9)catch a cold (10)rival

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)When, have, go to a library (2)I
watch TV when (3)When, have, play
the guitar

3 (1)When Ken is hungry, he eats (2)I
know a part of the song(.) (3)What is
this sweet red fruit(?)

考え方

1 (1)「～のときに」は when ～で表す。(2)「～
のときに」を表すとき、when の後ろには(主
語+動詞)がくる。(3)「～のときに」を表す
when ～が文の後半になるときも、～には
(主語+動詞)がくる。

2 (1)「自由な時間があるときに、私は図書館に
行きます。」(2)「自由な時間があるときに、
私はテレビを見ます。」(3)「自由な時間があ
るときに、私はギターをひきます。」

3 (1)「～のときに」は when ～で表す。(2)「～
の一部」は a part of ～で表す。(3)「～は何
ですか」は What is ～? で表す。

pp.10~11

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

(1)歌 (2)1 時間 (3)～前に (4)東 (5)元気づ
ける (6)earthquake (7)wrote
(8)artist (9)create (10)night

1 (1)イ (2)イ (3)イ

2 (1)was eating lunch (2)were reading books
(3)were watching, movie

3 (1)was taking a shower at (2)What were
you looking for there(?) (3)Her words
cheered up the people in the country(.)

考え方

1 (1)「入浴していました」は過去進行形の was
～ing で表す。(2)「話していました」は過去
進行形で表す。主語が複数なので be 動詞は
were。(3)「走っていましたか」なので過去
進行形の疑問文にする。be 動詞の were を
文頭に置く。

2 (1)「そのときミワは昼食を食べていました。」
(2)「そのときミワとベスは本を読んでいた
ました。」(3)「そのときミワとベスは映画を見
ていました。」

3 (1)「シャワーを浴びていました」は過去進行
形の was ～ing で表す。(2)「何を探してい
たのですか」は what を使った過去進行形の
疑問文で表す。(3)「～を元気づける」は
cheer up ～で表す。

Words & Phrases

- (1)本当の (2)豆 (3)だれか (4)fight
(5)always (6)say

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)There are (2)When (3)was reading

3 (1)There is a big hospital in this town.(.)
(2)Is there a post office near here(?)
(3)reads a magazine when he has free time
(4)What were they doing at that time(?)

考え方

1 (1)名詞が単数の a mug なので、「～があります」は There is ～. で表す。(2)「～したときに」は when ～ で表す。(3)「作っていました」は過去進行形で表す。主語が 3 人称単数なので be 動詞は was。

2 (1)「～がたくさんあります」で a lot of mountains とあるので, There are ～. で表す。(2)「～したとき(に)」は when ～ で表す。(3)「～を読んでいました」は過去進行形の was ～ing で表す。主語が I なので be 動詞は was とする。

3 (1)名詞が単数の a hospital なので、「～があります」は There is ～. で表す。(2)名詞が単数の a post office なので、「～がありますか」は Is there ～? で表す。(3)「暇なときに」は when ～ で表す。文頭が He なので when ～ は文の後半に置く。(4)「何をしていましたか」は what を使った過去進行形の疑問文で表す。

Words & Phrases

- (1)正面 (2)となりの (3)～の後ろに
(4)～の間に (5)hospital (6)bank
(7)department store (8)post office

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)front of (2)next to (3)He is between

3 (1)I am in front of the convenience store.(.)
(2)It is behind the post office.(.)
(3)The zoo is next to the aquarium.(.)

考え方

1 (1)「～の前に」は in front of ～ で表す。(2)「～のとなりに」は next to ～ で表す。(3)「～の後ろに」は behind ～ で表す。

2 (1)the flower shop の前にいるので, in front of ～ を使う。(2)the flower shop

のとなりにいるので, next to ～ を使う。
(3)the post office と the bookstore の間にいるので, between ～ and ... を使う。

3 (1)「～の前に」は in front of ～ で表す。(2)「～の後ろに」は behind ～ で表す。(3)「～のとなりに」は next to ～ で表す。

1 (1)イ (2)ア (3)ア (4)イ

2 (1)イ (2)エ (3)ウ (4)ウ

3 (1)Are there many plants in his house?

(2)Tom was watching TV at seven last night. (3)Naomi and her mother were playing tennis at that time.

4 (1)wrote (2)the people in Tohoku

(3)were singing

5 (1)He gives a part of his face to them.[He gives them a part of his face.]

(2)He[It] is Baikinman.

考え方

1 (1)「箱の中にペンが何本かあります。」There are ～. = 「～があります」名詞が複数なので are を使う。(2)「ケンが入浴するときにいつも歌を歌います。」when ～ = 「～するときに」(3)「昨夜 8 時にミカは皿を洗っていました。」was ～ing = 「～していました」主語が 3 人称単数なので was を使う。(4)「その銀行は病院のとなりにあります。」next to ～ = 「～のとなりに」

2 (1)「駅の近くに郵便局はありますか。」Is there ～? = 「～はありますか」名詞が単数なので is を使う。(2)「クロエは電車に乗るときに本を読みます。」when ～ = 「～するときに」(3)「昨日の午後 3 時に彼はサッカーをしていました。」was ～ing = 「～していました」主語が 3 人称単数なので was を使う。(4)「その本屋は駅の前にあります。」in front of ～ = 「～の前に」

3 (1)There are ～. の疑問文は Are there ～?. 書きかえた文の意味は「彼の家にはたくさんの植物がありますか。」となる。(2)現在進行形を過去進行形にする。書きかえた文の意味は「昨夜 7 時にトムはテレビを見ていました。」となる。(3)動詞を現在形から過去進行形にする。書きかえた文の意味は「そのときナオミと彼女の母はテニスをしていました。」となる。

4 (1)「書きました」なので過去形にする。動詞

writeの過去形はwrote。(2)代名詞theyは前で述べられたものや人などを指すことが多い。ここでは直前のthe people in Tohokuを指している。(3)過去進行形にする。主語がtheyなのでwere singingとなる。

全訳

彼はやなせたかしさんという、マンガ家で絵本作家です。彼はアンパンマンを創作しました。彼は作詞家でもありました。彼は『アンパンマンのマーチ』を書きました。東日本大震災が起きたとき、その歌は東北の人々を元気づけました。苦しいときに、彼らはその歌を歌っていました。

5 (1)「おなかのすいた人を見つけたとき、アンパンマンは何をしますか。」という質問。アオイの最初の発言の3文目から、gives a part of his face to them「彼らに彼の顔の一部をあげる」とわかる。(2)「アンパンマンのライバルはだれですか。」という質問。アオイの最後の発言から、Baikinmanがthe rival of Anpanman「アンパンマンのライバル」だとわかる。

全訳

アオイ：アンパンマンはユニークなヒーローなんだ。彼の顔はあんぱんなの。おなかのすいた人を見つけたとき、彼は顔の一部を彼らにあげるのよ。

エミリー：彼はとても親切なヒーローね。この黒と紫のキャラクターは何？

アオイ：彼はばいきんまんよ。彼はトラブルメーカーでアンパンマンのライバルなのよ。

- 1 (1)○ (2)× (3)×
- 2 (1)ア (2)イ (3)イ
- 3 (1)Are there (2)When, comes (3)next to
- 4 (1)Is there a school near your house(?)
(2)I drink a lot of water when I am
(3)Tom was watching TV at home at seven
- 5 (1)was playing tennis when I saw him in the (2)イ (3)played baseball
- 6 (1)There are two windows in my room.
(2)I watch TV when I have free time. (3)
I was studying English at eight last night.

考え方

- 1 (1)「夜」「ライバル」 (2)「有名な」「悲しい」
(3)「頭痛」「～を作り出す」

- 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)2番目の音節を強く読む。(3)2番目の音節を強く読む。
- 3 (1)「～がありますか」= Are there ~? 名詞が複数なのでareを使う。(2)「～するときに(は)」= when ~ (3)「～のとなりに」= next to ~
- 4 (1)「～がありますか」= Is there ~? 「あなたの家の近くに」を表すnear your houseを文末に置く。(2)「～のときに」= when ~ 「のどがかわいた」を表すthirstyが文末にあるので、when ~が文の後半になる。(3)「～を見ていました」= was watching ~
- 5 (1)「～を見たときに」はwhen ~で、「～をしていました」は過去進行形のwas playing ~で表す。(2)be動詞とtroubleの間に1語を入れるので、is in trouble「困っている」となるイが正解。(3)ミキが最初の発言でWhat did you do last Sunday, John? 「この前の日曜日に何をしたの、ジョン?」とたずねて、ジョンがI played baseball with my friends. 「友だちと野球をしたよ。」と答えているので、ここから2語を抜き出せばよい。

全訳

ミキ：この前の日曜日に何をしたの、ジョン?
ジョン：友だちと野球をしたよ。

ミキ：ケン是你たちといっしょだった?
ジョン：いや。公園で見たときに彼はテニスをしてたよ。

ミキ：彼と話した?
ジョン：うん。野球をしたあとに彼と話したよ。そこでぼくたちはテレビゲームについて話したよ。どうして彼のことを話しているの?

ミキ：彼が困っていると思っているからよ。
ジョン：本当? でも彼は楽しそうにしていたよ。
ミキ：それならよかった。

- 6 (1)「窓が2つある」なのでThere are ~.の文にする。(2)「私は自由な時間があるときに～します」という文にする。「自由な時間があるときに」はwhen I have free timeと表す。これは文の前半と後半のどちらにも置けるが、前半に置く場合は「(コンマ)」で区切るのを忘れないようにする。(3)「昨夜8時」という過去のある時にしていたことなので、I was ~ingという過去進行形の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1) There are ~. が正しく使えている。(2) 接続詞 when が正しく使えている。(3) 過去進行形が正しく使えている。(5点)

Unit 2

pp.20~21

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)今夜 (2)もうすぐ (3)かたづけ (4)勝つ
 (5)試合 (6)rain (7)sunny (8)cloudy
 (9)tomorrow (10)do, best

- 1 (1)ア (2)イ (3)イ
 2 (1)will buy (2)will clean, room (3)I'll visit, next month
 3 (1)It will be cloudy all (2)will do our best for (3)Let's go and see the movie next

考え方

- 1 (1)「~でしょう」は〈will+動詞の原形〉で表す。(2)「~するつもりです」は〈will+動詞の原形〉で表す。(3)「~するつもりです」は〈will+動詞の原形〉で表す。
 2 (1)「私はコンビニエンスストアでサンドイッチを買うつもりです。」(2)「私は明日自分の部屋を掃除するつもりです。」(3)「私は来月京都を訪れるつもりです。」
 3 (1)「~でしょう」は〈will+動詞の原形〉で表す。(2)「~するつもりです」は〈will+動詞の原形〉で表す。(3)「~を見に行く」は go and see ~ で表す。

pp.22~23

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)計画 (2)運転する (3)観光 (4)イルカ
 (5)beach (6)island (7)cycle (8)go

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア
 2 (1)is going (2)is going, play (3)is going, enjoy
 3 (1)I am going to swim in the sea (2) What are you going to do (3)I want to drive around that

考え方

- 1 (1)主語が We なので、「~する予定です」は〈are going to+動詞の原形〉で表す。(2)主語が 3人称単数なので、「~する予定です

考え方

か」は〈Is+主語+going to+動詞の原形~?〉で表す。(3)〈Is+主語+going to+動詞の原形~?〉の疑問文への返事なので、isn'tを使う。

- 2 (1)「サムは今週末に大阪を訪れる予定です。」(2)「サムは今週末にサッカーをする予定です。」(3)「サムは今週末に料理を楽しむ予定です。」
 3 (1)「私は~する予定です」は〈I am going to+動詞の原形〉で表す。(2)「あなたは~に何をすることを予定ですか」は What are you going to do ~? で表す。(3)「~したい」は want to ~ で表す。

pp.24~25

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)~しなければならない (2)~に従う (3)地元の (4)こみ合った (5)~の世話をする
 (6)rule (7)public (8)gum (9)chew
 (10)go out

- 1 (1)イ (2)ア (3)イ
 2 (1)must help (2)must bring (3)must leave
 3 (1)must take care of (2)They must not go out at (3)must not take pictures here

考え方

- 1 (1)「~しなければなりません」は〈must+動詞の原形〉で表す。(2)「~しなければいけません」は〈must+動詞の原形〉で表す。(3)「~してはいけません」は〈must not+動詞の原形〉で表す。
 2 (1)「あなたはお父さんを手伝わなければなりません。」(2)「あなたは教科書を持ってこなければなりません。」(3)「あなたは早く家を出なければなりません。」
 3 (1)「~しなければなりません」は〈must+動詞の原形〉で表す。(2)「~してはいけません」は〈must not+動詞の原形〉で表す。(3)「~してはいけません」は〈must not+動詞の原形〉で表す。

pp.26~27

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)学ぶ (2)有名な (3)~を意味する
 (4)show (5)language (6)clothes

- 1 (1)ア (2)イ (3)ア
 2 (1)will (2)are going to (3)must not

- 3 (1) I will be fourteen years old (2) Will you be at home after school(?) (3) What are you going to do this weekend?(
 (4) You must not eat in this place(.

考え方

- 1 (1)主語が3人称単数なので、「～する予定です」は〈is going to + 動詞の原形〉で表す。(2)「～でしょう」は〈will + 動詞の原形〉で表す。(3)「～しなくてははいけません」は〈must + 動詞の原形〉で表す。
- 2 (1)「行きますよ」は「行くつもりです」と考え、〈will + 動詞の原形〉で表す。(2)主語がWeであることと空所の数から、「～するつもりです」は〈are going to + 動詞の原形〉で表す。(3)「～してはいけません」は〈must not + 動詞の原形〉で表す。
- 3 (1)「来週14歳になります」は未来のことなので、〈will + 動詞の原形〉で表す。(2)「放課後～ですか」は未来のことなので、〈will + 動詞の原形〉の疑問文で表す。(3)「(あなたは)～は何をする予定ですか」はWhat are you going to do ~?で表す。(4)「～してはいけません」は〈must not + 動詞の原形〉で表す。

pp.28~29

びたトレ 1 (Let's Talk 2)

Words & Phrases

- (1)薬 (2)両替する (3)日焼け止め
 (4)prepare (5)pack (6)suitcase

- 1 (1)イ (2)ウ (3)ア
 2 (1)have to (2)have to apply
 3 (1)I have to read this book tonight(.
 (2)We don't have to bring a hair dryer(.
 (3)I have to exchange money before the trip(.

考え方

- 1 (1)主語がIなので、「～しないとはいけません」は〈have to + 動詞の原形〉で表す。(2)主語がSheなので、「～しなければはいけません」は〈has to + 動詞の原形〉で表す。(3)主語がYouなので、「～する必要はありません」は〈don't have to + 動詞の原形〉で表す。
- 2 (1)質問文に合わせて〈have to + 動詞の原形〉の文で答える。(2)今回が初めての海外旅行なので、apply for a passport「パスポートを申請する」を使った〈have to + 動詞の原形〉の文にする。

- 3 (1)主語がIなので、「～しなければなりません」は〈have to + 動詞の原形〉で表す。(2)主語がWeなので、「～する必要はありません」は〈don't have to + 動詞の原形〉で表す。(3)主語がIなので、「～しないとはいけません」は〈have to + 動詞の原形〉で表す。

pp.30~31

びたトレ 2

- 1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)イ
 2 (1)ウ (2)ウ (3)エ (4)ウ
 3 (1)私の兄[弟]はイヌの世話をしましょう。
 (2)私は次の水曜日にあるパーティーのために準備しなければなりません。(3)彼らは昼食後に自分の部屋を掃除しなければなりません。(4)この公園で動物にえさを与えてはいけません。
 4 (1)is going to visit (2)イルカを見る
 (3)wants to watch dolphins
 5 (1)He is going to visit New Zealand.
 (2)She recommends a Maori village.

考え方

- 1 (1)「明日の朝は寒いでしょう。」〈will + 動詞の原形〉=「～でしょう」(2)「彼はこの夏に京都を訪れる予定です。」〈is going to + 動詞の原形〉=「～する予定です」(3)「トムはその映画を見るつもりですか。」〈Is + 主語 + going to + 動詞の原形～?〉=「～するつもりですか」(4)「生徒は校則に従わなければなりません。」〈must + 動詞の原形〉=「～しなければなりません」
- 2 (1)「私は明日この本を母にあげるつもりです。」〈will + 動詞の原形〉=「～するつもりです」(2)「あなたは放課後に何をする予定ですか。」What are you going to do?=「あなたは何をする予定ですか。」(3)「私たちはここでは手袋をしなければなりません。」〈must + 動詞の原形〉=「～しなければなりません」(4)「あなたはトマトを買う必要はありません。」〈don't have to + 動詞の原形〉=「～する必要はありません」
- 3 (1)〈will + 動詞の原形〉=「～するでしょう」(2)〈have to + 動詞の原形〉=「～しなければなりません」(3)〈must + 動詞の原形〉=「～しなければなりません」(4)〈must not + 動詞の原形〉=「～してはいけません」
- 4 (1)エミリーの最初の発言I'm going to visit Hawaii with my family.「家族とハワイを

訪れる予定よ。」をもとに答える。(2)エミリーの2番目の発言We're going to watch dolphins on a boat.「私たちは船でイルカを見る予定よ。」をもとに答える。(3)ソラの最後の発言にあるI want to watch dolphins, too.「ぼくもイルカを見たいな。」をもとに答える。

全訳

ソラ：何か夏休みの計画はあるの？
 エミリー：家族とハワイを訪れる予定よ。
 ソラ：それはいいね！　そこで何をするつもり？
 エミリー：私たちは船でイルカを見る予定よ。
 ソラ：なんてすてきなんだ！　ぼくもイルカを見たいな。
 エミリー：あなたのためにたくさん写真をとるわ。

5 (1)「夏休み中にソラはどこを訪れる予定ですか。」という質問。ソラの2番目の発言から、New Zealand「ニュージーランド」だとわかる。(2)「ベル先生はどんな場所をすすめていますか。」という質問。ベル先生の最後の発言から、a Maori village「マオリの村」だとわかる。

全訳

ソラ：すみません、ベル先生。
 ベル先生：こんにちは、ソラ。何の用かしら？
 ソラ：夏休み中にニュージーランドを訪れる予定なんです。
 ベル先生：まあ、それはいいわね。ニュージーランドはすばらしい国よ。あなたのお気に入りになるでしょう。
 ソラ：ニュージーランドのどんな場所がおすすめですか。
 ベル先生：マオリの村はどうかしら？　マオリ人について学べるわよ。

going to visit Nagoya next week.
 (3)You must not take pictures here.

考え方

- (1)「島」「サイクリングする」(2)「公共の」「規則」(3)「～に従う」「地元の」
- (1)2番目の音節を強く読む。(2)2番目の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- (1)「～でしょう」=〈will+動詞の原形〉(2)「～する予定です」=〈is going to+動詞の原形〉主語が3人称単数なのでisを使う。(3)「～しなければなりません」=〈must+動詞の原形〉「～の世話をする」はtake care of ~で表す。
- (1)「～するつもりです」=〈will+動詞の原形〉(2)「～しなくてはなりません」=〈must+動詞の原形〉(3)「～してはいけません」=〈must not+動詞の原形〉
- (1)「あなたは何をする予定ですか。」はWhat are you going to do?で表す。(2)「～でしょう」は〈will+動詞の原形〉で表す。天候を表す文なのでItを主語にする。(3)「～しなければなりません」は〈must+動詞の原形〉で、「～の準備をする」はprepare for ~で表す。(4)「次の試合の準備をしなければならぬ」と言われたことへの応答なので、do my best「最善をつくす」という表現となるアが正解。

全訳

母：今日の午後、あなたは何をする予定なの？
 リサ：テニスの練習をする予定よ。
 母：ああ、そうね。次の試合はいつ？
 リサ：次の日曜日よ。でもその日は雨が降るらしいよ。
 母：おそらくね。でもその準備はしなきゃだめよ。
 リサ：うん。最善をつくすつもりよ。
 6 (1)「～するつもりです」と意志を伝える文では、〈will+動詞の原形〉を使う。(2)「～する予定です」は、主語が3人称単数の場合は〈is going to+動詞の原形〉で表す。(3)「～してはいけません」は〈must not+動詞の原形〉で表す。

- (1)○ (2)× (3)×
- (1)イ (2)イ (3)ア
- (1)It will be (2)is going to go (3)must take care of
- (1)I will buy clothes at (2)We must go to bed early (3)You must not take a bath
- (1)What are you going to do (2)It will be rainy (3)must prepare for (4)ア
- (1)I will work hard. (2)My father is

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1)〈will + 動詞の原形〉が正しく使えている。
(2)〈is going to + 動詞の原形〉が正しく使えている。
(3)〈must not + 動詞の原形〉が正しく使えている。(5点)

Unit 3

pp.34~35

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)火事 (2)試合 (3)家具 (4)洪水 (5)~を中止する (6)tall (7)mouth (8)floor
(9)fall (10)upper

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)If I have, buy (2)If, have time, clean
(3)help, if you have time

3 (1)If you get up early (2)Turn off the TV
if you don't watch (3)is going to visit
Kyoto in the middle of August

考え方

- 1 (1)「もし~ならば」はif ~で表す。(2)ifの後ろは〈主語 + 動詞〉の語順になる。(3)「もし~ならば」はif ~で表す。
- 2 (1)「もしお金があるならば、私はケーキをたくさん買うでしょう。」(2)「もし時間があるならば、自分の部屋を掃除しなさい。」(3)「もし時間があるならば、私を手伝ってもらえますか。」
- 3 (1)「もし~ならば」はif ~で表す。(2)「もし~ならば」はif ~で表す。この文ではif ~を文の後半に置く。(3)「~の中ごろに」はin the middle of ~で表す。

pp.36~37

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)熱 (2)実験 (3)懐中電灯 (4)~なしに
(5)苦い (6)light (7)tired (8)move
(9)spare (10)blackout

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)because I have (2)Because, help my
mother (3)Because, to watch TV

3 (1)don't like green pepper because it is
bitter (2)Because they have a blackout,
they need (3)in case of an emergency

考え方

- 1 (1)「~だから」はbecause ~で表す。(2)becauseの後ろは〈主語 + 動詞〉の語順になる。(3)「~だから」はbecause ~で表す。
- 2 (1)「宿題があるから、私はあなたといっしょに行けません。」(2)「母を手伝わないといけなから、私はあなたといっしょに行けません。」(3)「テレビを見たいから、私はあなたといっしょに行けません。」
- 3 (1)「~だから」はbecause ~で表す。(2)「~だから」はbecause ~で表す。この文ではbecause ~を文の前半に置く。(3)「非常時には」はin case of an emergencyで表す。

pp.38~39

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)新しい (2)健康によい (3)警報器 (4)カバ
(5)災害 (6)important (7)off (8)decide
(9)fast (10)out of

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)think that (2)I think that (3)I think
my mother, get angry

3 (1)know that Japanese food is healthy
(2)thinks that we have to decide a
meeting (3)Do you know that we will
have our school festival

考え方

- 1 (1)「~だと思う」はthink (that) ~で表す。(2)「~ということを知っている」はknow (that) ~で表す。(3)「あなたは~ということを知っていますか」はDo you know (that) ~?で表す。
- 2 (1)「私はこれらの花は美しいと思います。」(2)「私は私たちには新しいコンピューターが必要だと思います。」(3)「私は母は怒るだろうと思います。」
- 3 (1)「~ということを知っている」はknow (that) ~で表す。(2)「~だと思う」はthink (that) ~で表す。(3)「あなたは~ということを知っていますか」はDo you know (that) ~?で表す。

pp.40~41

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)特別の (2)~に参加する (3)下部
(4)facility (5)occur (6)information

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)if I arrive (2)because she practiced (3)that he is

3 (1)If it is sunny today, we will have (2) stayed home all day because I had a fever (3)know that many Japanese people live (4)I think that Emma will come soon(.)

考え方

1 (1)「もし～なら(ば)」はif ～で表す。(2)「～(な)ので」はbecause ～で表す。(3)「～と いうことを知っている」はknow (that) ～ で表す。

2 (1)「もし～したら」はif ～で表す。(2)「～(な) ので」はbecause ～で表す。(3)「～と いうことを知っている」はknow (that) ～で表す。

3 (1)「もし～したら」はif ～で表す。if ～は文 の前半に置く。(2)「～(な)ので」は because ～で表す。(3)「～と いうことを 知っている」はknow (that) ～で表す。(4) 「～だと思ふ」はthink (that) ～で表す。

pp.42~43 びたトレ 1 (Target のまとめ①)

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)has to (2)is going to, early (3)Can[May] I

3 (1)I'm going to visit Hokkaido next month.(.) (2)I don't have to read this book.(.) (3)Can you wait for me at the station(?) (4)He may be right.(.)

考え方

1 (1)「～することができます」=〈can + 動詞の 原形〉 (2)「～でしょう」=〈will + 動詞の原 形〉 (3)「～してはいけません」=〈must not + 動詞の原形〉

2 (1)主語が3人称単数なので、「～しなければ なりません」はhas to ～で表す。(2)主語 が3人称単数なので、「～するつもりです」 は〈is going to + 動詞の原形〉で表す。(3) 「～してもいいですか?」はCan[May] I ~? で表す。

3 (1)「私は～するつもりです」は〈I am[I'm] going to + 動詞の原形〉で表す。(2)「～す る必要はありません」は〈don't have to + 動詞の原形〉で表す。(3)「～してくれませんか」はCan you ~?で、「～を待つ」はwait for ～で表す。(4)「～かもしれません」は 〈may + 動詞の原形〉で表す。

pp.44~45 びたトレ 1 (Target のまとめ②)

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)and walked (2)Which, or (3)If it's sunny

3 (1)When my cousin visited me, I wasn't at home(.) (2)I was tired because I studied hard(.) (3)I think that he is very kind(.) (4)I want to go to France or Spain.(.)

考え方

1 (1)「～と…」は～ and ...で表す。(2)「～のとき(に)」はwhen ～で表す。(3)「～だと思 う」はthink (that) ～で表す。

2 (1)「～して(そして)…する」は2つの動詞を andでつなぐ。「犬を散歩させる」はwalk my dogで表す。(2)この文では「～か…」の どちらかということをつねているのでor を使って～ or ...の形にする。(3)「もし～ なら(ば)」はif ～で表す。天気を述べる場 合の主語はit。

3 (1)「～するとき」はwhen ～で表す。この文 ではwhen ～を文の前半に置く。(2)「～の で」はbecause ～で表す。この文では because ～を文の後半に置く。(3)「～だと思 う」はthink (that) ～で表す。(4)「～か …」は～ or ...で表す。

p.46 びたトレ 1 (Let's Talk 3)

Words & Phrases

(1)看護師 (2)どうかしましたか。(3)office (4)headache

1 (1)a headache (2)go to

2 (1)You should take some medicine(.) (2)You should go to the restroom.(.)

考え方

1 (1)「頭が痛い」はhave a headacheで表す。(2)「保健室に行く」はgo to the nurse's officeで表す。

2 (1)「～したほうがいいです」は〈should + 動 詞の原形〉で表す。「薬を飲む」= take some medicine (2)「～したほうがいいで す」は〈should + 動詞の原形〉で表す。「トイ レに行く」= go to the restroom

p.47 びたトレ 1 (Project 1)

1 (1)must, uniform (2)have, field trip (3)There are

- 1 (1)「～しなければなりません」は〈must + 動詞の原形〉で、「制服」はschool uniformで表す。(2)「遠足がある」はhave a field tripで表す。(3)名詞が複数の400 studentsなので、「～がいます」はThere are ～.で表す。

pp.48~49

びたトレ2

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ (4)イ
 2 (1)ア (2)ア (3)ウ (4)ウ
 3 (1)外出するならテレビを消しなさい。(2)もし納豆が好きでないなら食べる必要はありません。(3)今日は母の誕生日なのでケーキを買う予定です。(4)あなたは冬休みの予定は何かありますか。
 4 (1)that (2)go out of the school building when (3)火災訓練は重要だと私は思います。
 5 (1)It's about a manhole toilet. (2)We have to open the manhole.

- 1 (1)「明日暑かったら、私たちは浜辺に行きます。if ~ = 「もし～ならば」 (2)「熱があったので、昨日ジョンは学校へ行きませんでした。」because ~ = 「～(な)ので」 (3)「もしお金がたくさんあったら、あなたは何をしますか。if ~ = 「もし～ならば」 (4)「あなたは毎日自分の部屋を掃除したほうがいいです。」〈should + 動詞の原形〉 = 「～したほうがいいです」
 2 (1)「気分がよくなかったら、彼女は今日のピアノのレッスンに出ないでしょう。if ~ = 「もし～ならば」 (2)「今日は寒いので、私は温かい飲み物がほしいです。」because ~ = 「～(な)ので」 (3)「私はそれがいい考えだとは思いません。」think (that) ~ = 「～だと思う」 (4)「あなたはナンシーがアメリカ出身だと知っていますか。」Do you know (that) ~? = 「あなたは～ということを知っていますか」
 3 (1)if ~ = 「もし～ならば」 (2)〈don't have to + 動詞の原形〉 = 「～する必要はありません」 (3)because ~ = 「～(な)ので」 (4)Do you have any plans for ~? = 「あなたは～の予定は何かありますか」
 4 (1)空所の後ろに〈主語 + 動詞〉が続いているので、thatを入れてknow that ~「～ということを知っています」の形にする。(2)解答部分の直後に〈主語 + 動詞〉(the fire

alarm goes off)が続いているので、この直前に「～するときに」を表すwhenがくるようにする。文頭がWe'llなのでこれに動詞の原形のgoを続け、意味の通る文になるように残りの語を組み立てる。(3)think that ~「～だと思う」のthatが省略された文となっている。

全訳

- ソラ：明日火災訓練があることを知ってる？
 エミリー：ええ、でも何をやるの？
 ソラ：火災報知器が鳴ったときに、校舎の外に出るよ。
 エミリー：ああ、なるほど。
 ソラ：災害に備えなければいけないね。火災訓練は重要だと思うよ。
 5 (1)「この記事は何についてのものですか。」という質問。最初の文からa manhole toilet「マンホールトイレ」についてだとわかる。(2)「トイレを使いたいなら、最初に何をしなければなりませんか。」という質問。3文目からopen the manhole「マンホールを開ける」ことだとわかる。

全訳

これはマンホールトイレです。私は実演を見ました。トイレを使いたいなら、最初にマンホールを開けなければなりません。次に、その上に便座を置きます。そして、その上にテントを張ります。それでトイレを使えます。

pp.50~51

びたトレ3

- 1 (1)× (2)× (3)○
 2 (1)イ (2)イ (3)イ
 3 (1)If, may fall (2)because, talk with (3)think, is important
 4 (1)If I am free this weekend, I will go (2)Do you think that we can eat lunch (3)Because we are going to have a school festival soon, we are
 5 (1)イ (2)because (3)If you are interested in it (4)I know you are good at
 6 (1)Help me if you are free.[If you are free, help me.] (2)I want to study English because I like English songs. (3)Do you think (that) Japanese food is healthy?

- ① (1)「背の高い」「洪水」 (2)「口」「コンロ」 (3)「熱」「座席」
- ② (1)2番目の音節を強く読む。(2)2番目の音節を強く読む。(3)2番目の音節を強く読む。
- ③ (1)「もし～したら」= if ～ 「～かもしれません」= <may + 動詞の原形> (2)「～(な)ので」= because ～ (3)「～だと思ふ」= think (that) ～
- ④ (1)「もし～ならば」= if ～ if ～は文の前半に置く。(2)「あなたは～だと思いますか」= Do you think (that) ～? (3)「～(な)ので」= because ～ because ～は文の前半に置く。
- ⑤ (1)空所の後ろが名詞の the summer festivalなので, prepare for ～「～の準備をする」の形にする。(2)「～なので」は because ～で表す。(3)「もし～ならば」は if ～で表す。(4)「～ということを知っている」は know (that) ～で表す。空所の数から that を省略した形にする。

全訳

ケン: 何してるの, ミカ?

ミカ: この町の夏祭りの準備をしているのよ。

ケン: へえ, それは興味深いね。わくわくさせてくれるから祭りが好きだよ。

ミカ: それに興味があるなら, 私を手伝ってくれない?

ケン: もちろん!

ミカ: あなたが絵をかくのが得意なのを知ってるから, ポスターの絵をかいてくれない?

ケン: わかった。ベストをつくすよ。

- ⑥ (1)「もし～だったら」は if ～で表す。if ～は文の前半と後半のどちらに置いてもよい。(2)「～なので」は because ～で表す。(3)「あなたは～だと思いますか」は Do you think (that) ～? で表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1)接続詞 if が正しく使っている。(2)接続詞 because が正しく使っている。(3)接続詞 that を使った文を正しく書けている。(5点)

Unit 4

pp.52~53

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)仕事 (2)楽しみ (3)娯楽 (4)future
(5)dream (6)difficult

- 1 (1)イ (2)イ (3)イ

- 2 (1)speaking (2)like singing songs
(3)like getting up early

- 3 (1)He enjoys playing (2)Writing English is not easy(.) (3)Is watching dramas fun for

考え方

- 1 (1)「～することを楽しむ」は <enjoy + 動名詞> で表す。(2)「～することが好きだ」は <like + 動名詞> で表す。(3)「～すること」は動名詞で表せる。

- 2 (1)「私は英語を話すのが好きです。」(2)「私は歌を歌うのが好きです。」(3)「私は早く起きるのが好きです。」

- 3 (1)「～することを楽しむ」は <enjoy + 動名詞> で表す。(2)「英語を書くこと」は動名詞を使って Writing English とし, これを主語にする。(3)「ドラマを見ること」は動名詞を使って watching dramas とし, これを主語とする。疑問文なので Is を文頭に置く。

pp.54~55

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)患者 (2)病院 (3)スーパーマン (4)よくなる
(5)doctor (6)foreign (7)ice hockey
(8)nurse

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ

- 2 (1)want to play (2)want to watch that
(3)I want to try ice

- 3 (1)What language do you want to learn(?)
(2)His dream is to be a soccer (3)Her favorite pastime is to play with

考え方

- 1 (1)「～したい」は <want to + 動詞の原形> で表す。(2)「～すること」は不定詞 (<to + 動詞の原形>) で表せる。(3)「～したい」は <want to + 動詞の原形> で表す。

- 2 (1)「私はテニスをしたいです。」(2)「私はあの映画を見たいです。」(3)「私はアイスホッケーをやりたいです。」

- 3 (1)「～したい」は <want to + 動詞の原形> で

表すので、「学びたい」はwant to learnとなる。(2)「彼の夢は～です」はHis dream is ～と表す。「サッカー選手になること」は不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。(3)「彼女の好きな娯楽は～です」はHer favorite pastime is ～と表す。「愛犬と遊ぶこと」は不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。

pp.56~57

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)小説家 (2)メートル (3)必要な (4)～を練習する (5)interesting (6)easy (7)save (8)money

- 1** (1)ア (2)ア (3)イ
2 (1)easy, to make (2)It is difficult, to write (3)It is necessary for me to practice
3 (1)is difficult for Mary to speak Japanese (2)It is not easy for me to play the (3)Is it important for you to write

考え方

- 1** (1)「人が～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「～することは…です」は〈It is ... to + 動詞の原形〉で表す。(3)「人が～することは…ですか」は〈Is it ... for + 人 + to + 動詞の原形 ~?〉で表す。
2 (1)「私にとって朝食を作るのは簡単です。」(2)「私にとって物語を書くのは難しいです。」(3)「私にとってピアノを練習するのは必要です。」
3 (1)「人が～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「人が～することは…ではありません」は〈It is not ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(3)「人が～することは…ですか」は〈Is it ... for + 人 + to + 動詞の原形 ~?〉で表す。

pp.58~59

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)手話 (2)腕 (3)～だと信じる (4)robot (5)translate (6)something

- 1** (1)ア (2)イ (3)ア
2 (1)collecting key rings (2)It is difficult[hard] (3)at making
3 (1)My favorite pastime is watching stars.(.) (2)I am interested in playing the sax.(.) (3)It is very difficult for my sister to

play (4)My dream is to work as a nurse.(.)

考え方

- 1** (1)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で表す。(2)「～することは…です」は〈It is ... to + 動詞の原形〉で表す。(3)「～することを楽しむ」は〈enjoy + 動名詞〉で表す。
2 (1)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で表す。「～を集める」はcollect。(2)「人にとって～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(3)「～することが上手だ」は〈be good at + 動名詞〉で表す。
3 (1)「私の好きな娯楽は～です」はMy favorite pastime is ～と表す。「星を見ること」は動名詞を使ってwatching starsとする。(2)「～することに興味がある」は〈be interested in + 動名詞〉で表す。(3)「人が～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(4)「私の夢は～です」はMy dream is ～と表す。「看護師として働くこと」は不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。

pp.60~61

びたトレ 1 (Let's Talk 4)

Words & Phrases

- (1)ジュース (2)昼食 (3)コーラ (4)milk (5)coffee (6)tea

- 1** (1)ウ (2)ア (3)イ
2 (1)like the grilled fish (2)I'd like curry and rice
3 (1)I would like the steak with rice.(.) (2)What would you like to have?(?) (3)I would like Lunch B.(.) (4)I would like some apple juice.(.)

考え方

- 1** (1)レストランなどで注文するとき、「～をお願いします」はI would[I'd] like ～.で表す。(2)「何を飲みますか。」はWhat would you like to drink?で表す。(3)レストランなどで注文するとき、「～をお願いします」はI would[I'd] like ～.で表す。
2 (1)(2)ウエイターに注文をきかれているので、I would[I'd] like ～.「～がほしいです」の形で答える。
3 (1)レストランなどで「～をいただきます」と言うときは、I would like ～.を使う。(2)レストランなどで店員が「何を～しますか」と言うときは、What would you like to ~?

を使う。(3)レストランなどで「～をお願いします」と言うときは、I would like ～.を使う。(4)レストランなどで「～をお願いします」と言うときは、I would like ～.を使う。

pp.62~63

びたトレ2

- 1 (1)イ (2)イ (3)イ (4)ア
 2 (1)エ (2)イ (3)ア (4)ウ
 3 (1)She enjoys playing the violin.
 (2)Playing the guitar is not difficult for Yuta.
 (3)Nana wants to help her grandmother.
 (4)It is important for us to save money.
 4 (1)My dream is to be a doctor (2)Thanks (3)got (4)want to help
 5 (1)A team of junior high school students in Osaka did. (2)It will be helpful for sign language users.

考え方

- 1 (1)「エミリーは歌を歌うのが好きです。」〈like + 動名詞〉＝「～することが好きだ」(2)「テレビゲームをすることが私の弟[兄]にとって楽しみです。」「テレビゲームをすること」を動名詞で表し、主語にする。(3)「私は浜辺に行きたいです。」〈want to + 動詞の原形〉＝「～したい」(4)「彼にとって日本の映画を見るのは興味深いです。」〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉＝「人にとって～することは…です」
 2 (1)「彼らは物語を書くのを楽しみます。」〈enjoy + 動名詞〉＝「～することを楽しむ」(2)「彼の夢はファッションデザイナーになることです。」「ファッションデザイナーになること」は不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。(3)「私はこの夏にサーフィンをやってみたいです。」〈want to + 動詞の原形〉＝「～したい」(4)「彼女にとって英語を勉強することは必要です。」〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉＝「人にとって～することは…です」
 3 (1)〈enjoy + 動名詞〉「～することを楽しむ」を使った文にする。書きかえた文の意味は「彼女はバイオリンをひくのを楽しみます。」となる。(2)動名詞を使ったPlaying the guitarを主語にする。書きかえた文の意味は「ギターをひくことはユウタにとって難しくありません。」となる。(3)「～したい」を

〈want to + 動詞の原形〉で表す。書きかえた文の意味は「ナナは祖母を手伝いたいです。」となる。(4)「人が～することは…です」を〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。書きかえた文の意味は「私たちがお金をためることは重要です。」となる。

- 4 (1)「私の夢は～です」をMy dream is ～で表し、「医者か看護師になること」はto be a doctor or a nurseとしてisのあとに置く。(2)「～のおかげで」はthanks to ～で表す。文頭なので大文字で始める。(3)空所の部分をのぞくとこの文は「彼ら(=医者と看護師)のおかげで祖母は～。」という意味で、「(病気が)よくなった」の意味を補えばよい。get wellで「(病気が)よくなる」を表し、getの過去形はgot。(4)「～したい」は〈want to + 動詞の原形〉で表す。

全訳

私の夢は医者か看護師になることです。先月、私は病院に祖母を見舞いに行きました。お医者さんと看護師さんが患者のためにとても一生けんめい働いていました。彼らのおかげで、祖母はよくなりました。私も人々を助けたいです。

- 5 (1)「だれがそのロボットを開発しましたか。」という質問。2文目からA team of junior high school students in Osaka「大阪の中学生のチーム」が開発したとわかる。応答ではdevelopedをdidに言いかえる。(2)「そのロボットはだれの役に立つでしょうか。」という質問。最後の文から、sign language users「手話使用者」の役に立つと考えられていることがわかる。

全訳

そのロボットは企業の製品ではありませんでした。大阪の中学生のチームがそれを開発しました。彼らにとってそのロボットをプログラムするのは難しかったのです。彼らはそれに一生けんめい取り組みました。彼らはそれが手話使用者の役に立つだろうと信じています。

pp.64~65

びたトレ3

- 1 (1)× (2)× (3)○
 2 (1)ア (2)ウ (3)ア
 3 (1)like watching (2)to see[meet] (3)It is fun for
 4 (1)Playing tennis is difficult for (2)Her dream is to be a

(3)It is important for us to sleep well(.)

- 5 (1)ぼくの夢は動物園の飼育員になることです。
(2)taking (3)it is interesting for me to see (4)in the
- 6 (1)I want to play the saxophone[sax].
(2)My dream is to be a doctor.
(3)It is difficult for me to read this book.

考え方

- 1 (1)「患者」「娯楽」(2)「未来」「楽しみ」(3)「手まね」「賞」
- 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)3番目の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- 3 (1)「～することが好きだ」=〈like + 動名詞〉
(2)「～したい」=〈want to + 動詞の原形〉
(3)「人にとって～することは…です」=〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉
- 4 (1)「テニスをする」は動名詞を使って Playing tennisとし、これを主語とする。
(2)Her dream「彼女の夢」を主語にし、「科学者になること」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って to be a scientistと表す。
(3)「人にとって～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。
- 5 (1)この文の to be a zoo keeper は名詞的用法の不定詞で、「動物園の飼育員になること」の意味になる。(2)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で、「～の世話をする」は take care of ~ で表す。ing 形の taking とする。(3)「人にとって～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(4)「将来(は)」は in the future で表す。

全訳

エミリー：シュン、あなたの将来の夢は何？
シュン：ぼくの夢は動物園の飼育員になることだよ。
エミリー：えっ、あなたは動物が好きなの？
シュン：うん、とても。ぼくの家族は2頭の犬を飼っていて、ぼくは彼らの世話をするのが好きなんだ。
エミリー：あなたはよく動物園に行くの？
シュン：うん。ぼくはそこに家族といっしょに行くし、ぼくにとって動物を見ることは興味深いんだ。
エミリー：それじゃ、私は将来、動物園であなたに会うことになるでしょうね。
シュン：たぶんね。

- 6 (1)「～を演奏したい」は、〈want to + 動詞の原形〉を使って want to play ~ で表す。
(2)「私の夢」を主語にし、「医者になること」を不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を用いて表せばよい。(3)「人にとって～することは…です」なので、〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉という形にすればよい。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1)〈want to + 動詞の原形〉が正しく使えている。(2)不定詞(〈to + 動詞の原形〉)が正しく使えている。(3)〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉が正しく使えている。(5点)

Unit 5

pp.66~67

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)～を聞く (2)試験 (3)～に見える (4)繁華街へ (5)演技者 (6)pray (7)heavy (8)ear (9)late (10)pole

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)supermarket to buy (2)the park to play (3)went to the library to read

3 (1)stayed up late to watch (2)was waiting for the bus to go to school (3)went downtown to enjoy shopping

考え方

1 (1)(2)(3)「～するために」は不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。これは目的を表す副詞的用法の不定詞。

2 (1)「彼女は牛肉を買うためにスーパーマーケットに行きました。」(2)「彼女はテニスをするために公園に行きました。」(3)「彼女は本を読むために図書館に行きました。」

3 (1)「テレビを見るために」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使ってto watch TVと表す。「夜ふかしをする」= stay up late (2)「学校に行くために」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使ってto go to schoolと表す。(3)「買い物を楽しむために」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使ってto enjoy shoppingと表す。

pp.68~69

びたトレ1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)びっくりするような (2)集まる (3)～を投げる (4)がっかりした (5)うれしい (6)start (7)each (8)excited (9)result (10)Spain

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)sad to hear (2)was disappointed to see (3)was excited to ride a horse

3 (1)is happy to wear (2)was glad to talk with his friends (3)were surprised to see that picture

考え方

1 (1)(2)(3)「～して…」の「～して」は不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。これは感情の原因を表す副詞的用法の不定詞。

2 (1)「私はそのニュースを聞いて悲しかったで

す。」(2)「私はその結果を見てがっかりしました。」(3)「私は馬に乗ってわくわくしました。」

3 (1)「～して喜んでいる(happy)」の「～して」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。これがhappyという感情の原因を表している。(2)「～してうれしい(glad)」の「～して」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。これがgladという感情の原因を表している。(3)「～して驚いている(surprised)」の「～して」は、不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。これがsurprisedという感情の原因を表している。

pp.70~71

びたトレ1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)はねかける (2)銃 (3)～でさえ (4)水着 (5)celebrate (6)bucket (7)truck (8)temple

1 (1)イ (2)イ (3)ア

2 (1)to wash (2)TV program to watch (3)something to say

3 (1)have something to eat (2)There are some ways to go to (3)Do you have time to help me

考え方

1 (1)「何か飲む物」は「飲むための何か」と考え、これを形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。(2)「すべき宿題」は形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。(3)「訪れるべき場所」は形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。

2 (1)「私には洗わなければならない服がたくさんあります。」(2)「私には見るべきテレビ番組があります。」(3)「私には彼に言うべきことがあります。」

3 (1)「何か食べる物」は「食べるための何か」と考え、これを形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。(2)「東京へ行くにはいくつかの方法がある」は「東京へ行くいくつかの方法がある」と考え、「東京へ行くいくつかの方法」を形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。(3)「私を手伝う時間」は形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。

Words & Phrases

- (1)100万 (2)平和 (3)現れる
(4)entertainment (5)war (6)hope

- 1 (1)ア (2)イ (3)イ
2 (1)to buy (2)was glad[happy] to (3)you start playing
3 (1)practiced dancing hard to win
(2)excited to visit Paris during summer vacation (3)He was disappointed to hear the result(.) (4)We started learning English three years

考え方

- 1 (1)「～するために」は目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。(2)「～して…」の「～して」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。(3)「～し始める」は〈start + 動名詞〉で表す。
2 (1)「～するために」は目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。(2)「楽しく過ごせてうれしかった」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。(3)「～し始める」は〈start + 動名詞〉で表す。
3 (1)「～で勝つために」は、目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って to win ～と表す。(2)「～を訪れるのが楽しみ」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って excited to visit ～と表す。(3)「～を聞いてがっかり」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って disappointed to hear ～と表す。(4)「～し始める」は〈start + 動名詞〉で表す。

Words & Phrases

- (1)今すぐ (2)もちろん (3)～を持ってくる
(4)ボールペン (5)else (6)blanket
(7)water (8)fork

- 1 (1)ア (2)イ (3)ア
2 (1)bring, orange juice (2)could you bring me a newspaper
3 (1)Could I have a fork, please(?)
(2)Could I move to another seat, please(?)
(3)Could you give some drink to me,

please(?)

考え方

- 1 (1)「～してもよいでしょうか」といねいにたずねるときは、Could I ~(, please)?で表す。(2)「～をお持ちします」は will bring ～で表す。(3)「～をいただいてもよろしいですか」といねいにたずねるときは、Could I ~(, please)?で表す。
2 (1)(2)「～をしていただけませんか」といねいに頼むときは、Could you ~(, please)?で表す。
3 (1)「～をいただいてもよろしいですか」といねいにたずねるときは、Could I ~(, please)?で表す。(2)「～してもよろしいですか」といねいにたずねるときは、Could I ~(, please)?で表す。(3)「～をいただけませんか」といねいに頼むときは、Could you ~(, please)?で表す。

- 1 (1)ア (2)ア (3)イ (4)イ
2 (1)ウ (2)エ (3)ウ (4)イ
3 (1)おばは祖母に会うために私の家に来ました。(2)トムは新聞を読んで驚きました。(3)あなたは何か飲む物がほしいですか。(4)その美術館には見るべきたくさんさんの絵があります。
4 (1)the festival to pray for (2)long poles with many lanterns (3)(竿燈は(それらは))長くて重いから。(4)like
5 (1)They gathered at a little village in Spain. (2)They started to throw tomatoes at each other.

考え方

- 1 (1)「メアリーはいくつかの寺を訪れるために京都に行きました。」この〈to + 動詞の原形〉は「～するために」を表す副詞的用法の不定詞。(2)「選手たちは試合に勝って興奮していました。」この〈to + 動詞の原形〉は「～して」を表す副詞的用法の不定詞。(3)「私は今日の午後、すべき宿題がたくさんあります。」この〈to + 動詞の原形〉は「～すべき」を表す形容詞的用法の不定詞。(4)「彼女は昼食を食べる時間がありません。」この〈to + 動詞の原形〉は「～するための」を表す形容詞的用法の不定詞。
2 (1)「私はロンドンの何人かの友だちと話すために英語を勉強します。」この〈to + 動詞の原形〉は「～するために」を表す副詞的用法

の不定詞。(2)「彼は帽子をなくしてがっかりしました。」この〈to+動詞の原形〉は「～して」を表す副詞的用法の不定詞。(3)「私は何か電車の中で読む物が必要です。」この〈to+動詞の原形〉は「～するための」を表す形容詞的用法の不定詞。(4)「彼は私たちに言うべきことがあります。」この〈to+動詞の原形〉は「～すべき」を表す形容詞的用法の不定詞。

- 3 (1)to seeは「～するために」を表す副詞的用法の不定詞。(2)to readは「～して」を表す副詞的用法の不定詞。(3)to drinkは「～するための」を表す形容詞的用法の不定詞。(4)to seeは「～すべき」を表す形容詞的用法の不定詞。
- 4 (1)「～を開催する」という意味の動詞holdの目的語としてthe festival「その祭り」を置き、「～するために」を表す不定詞to prayを続ける。a good harvest「よい収穫(=豊作)」の前に前置詞forを置いてpray for a good harvestで「豊作を祈る」の意味となる。(2)3文目にkanto, long poles with many lanternsとある。このlong poles with many lanternsがkantoを説明している。(3)4文目にIt is very difficult to raise themとあり、themはkantoのことなので、続くbecauseのあとに竿燈を上げるのが難しい理由があるとわかる。(4)「～に似ている」はlook like ～で表す。

全訳

秋田竿燈祭りは有名な夏祭りです。人々は豊作を祈るためにその祭りを開催します。演じる人々はたくさんのちょうちんがついた長い棒である竿燈を上げます。それらは長くて重いので、それらを上げるのはとても難しいです。竿燈は稲穂に似ています。

- 5 (1)「たくさんの人々がどこに集まりましたか。」という質問。2文目にA lot of people gathered at a little village in Spain「たくさんの人々がスペインの小さい村に集まりました。」とある。応答では、A lot of peopleをTheyに言いかえる。(2)「人々はその祭りで何を始めましたか。」という質問。3文目にThey started to throw tomatoes at each other「彼らは互いにトマトを投げ始めました」とあるので、これをそのまま答える。

全訳

先日、私はテレビですばらしい祭りを見ました。たくさんの人々がスペインの小さい村に集まりました。彼らは互いにトマトを投げ始め、そしてすぐに彼らはトマトの汁で赤くなりました。私はその祭りを見てわくわくしました。

pp.78~79

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)○ (3)×
 2 (1)ア (2)ウ (3)ア
 3 (1)to see (2)to play (3)time to play
 4 (1)went to the bookstore to buy a dictionary (2)was disappointed to see the result of (3)Do you have time to visit
 5 (1)practiced the violin hard to prepare for (2)to listen (3)彼女は何か食べる物をほしがっていました (4)イ
 6 (1)He went to the library to do his homework. (2)I was happy[glad] to see[meet] him. (3)She has many[a lot of] books to read.

考え方

- 1 (1)「祈る」「～を上げる」(2)「棒」「～を投げる」(3)「びっくりするような」「集まる」
 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)3番目の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
 3 (1)「～するために」は目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to+動詞の原形〉)で表す。(2)「～してうれしい」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to+動詞の原形〉)を使って表す。(3)「～をする時間」は形容詞的用法の不定詞(〈to+動詞の原形〉)を使って表す。
 4 (1)「～を買うために」は、目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to+動詞の原形〉)を使ってto buy ～と表す。(2)「～を見てがっかり」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to+動詞の原形〉)を使ってdisappointed to see ～と表す。(3)「～に来る時間」は、形容詞的用法の不定詞(〈to+動詞の原形〉)を使ってtime to visit ～と表す。
 5 (1)Sheが主語で過去の話なので、動詞はpracticedとなる。その目的語はthe violinがふさわしい。また、副詞hardをその後ろに置く。これに、副詞的用法の不定詞to prepare for「～の準備をするために」を続け、the concertにつなげばよい。(2)「～して…」を表す副詞的用法の不定詞(〈to+

動詞の原形))の文にするので、不定詞to listenを入れる。(3)to eatは「食べるための」の意味を表す形容詞的用法の不定詞。(4)「～など」を表すand so onにする。

全訳

昨日、私はあるコンサートに行きました。私のいとこの1人であるサキがそのコンサートでバイオリンを演奏しました。彼女はそのコンサートの準備をするために一生けんめいバイオリンを練習しました。彼らはとても上手に演奏し、私は彼らの音楽を聞いてうれしかったです。コンサートのあとで、私はレストランでサキに会いました。彼女はおながすいていたので、何か食べる物をほしがっていました。私たちはハンバーガーとフライドポテトを食べました。私たちはそのコンサートや好みの音楽などについて話しました。

6 (1)「～するために」を表す副詞的用法の不定詞((to+動詞の原形))を使う。(2)「～して」を表す副詞的用法の不定詞((to+動詞の原形))を使う。(3)「読む本」は「読むための本」と考え、「～するための」を表す形容詞的用法の不定詞((to+動詞の原形))を使う。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 不定詞((to+動詞の原形))を使うという指示に従って書けている。(3点)
- 正しい文法を用いて書けている。(3点)

Unit 6

pp.80~81

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)足 (2)実際には (3)神経質な (4)(~の)味がする (5)漂流する (6)eye (7)shy
(8)monkey (9)problem (10)feeding

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)sleepy (2)look busy

(3)You look disappointed

3 (1)looked surprised when she (2)That room looks small (3)How do you feel when

考え方

- 1 (1)「~に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。
(2)「~に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。
(3)「~だと感じる」は〈feel + 形容詞〉で表す。

2 (1)「あなたは眠そうに見えます。」(2)「あなたはいそがしそうに見えます。」(3)「あなたはがっかりしているように見えます。」

3 (1)「~に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。
(2)「~に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。
(3)「どのように感じますか」は、〈feel + 形容詞〉を使ったHowで始まる疑問文で表す。

pp.82~83

びたトレ1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)ハチミツ (2)数字 (3)方向 (4)距離
(5)ミツバチ (6)tell (7)send (8)nose
(9)fish (10)toy

1 (1)イ (2)イ (3)ア

2 (1)her these flowers (2)give him a glass of water (3)give them a cake

3 (1)buys me a book (2)told a man the way to the post office (3)Did you send her an e-mail

考え方

1 (1)「(人)に(もの)を与える」は〈give + 人 + もの〉で表す。(2)「(人)に(もの)をあげる」は〈give + 人 + もの〉で表す。(3)「(人)に(もの)を見せる」は〈show + 人 + もの〉で表す。

2 (1)「私は彼女にこれらの花をあげるつもりです。」(2)「私は彼に1杯の水をあげるつもりです。」(3)「私は彼らにケーキをあげるつもりです。」

3 (1)「(人)に(もの)を買ってあげる」は〈buy + 人 + もの〉で表す。(2)「(人)に(ものごと)を

伝える[教える]」は〈tell + 人 + ものごと〉で表す。「~への行き方」= the way to ~
(3)「(人)に(もの)を送る」は〈send + 人 + もの〉で表す。

pp.84~85

びたトレ1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)天使 (2)おそろしい (3)悪魔 (4)美しく
(5)巨大な (6)change (7)head (8)wing
(9)cucumber (10)smartphone

1 (1)イ (2)イ (3)イ

2 (1)this teddy bear John (2)the building Shinbiru (3)call a smartphone sumaho

3 (1)calls her brother Dan
(2)named her baby Maria
(3)What do you call this flower

考え方

1 (1)「AをBと呼ぶ」は〈call + A + B〉で表す。
(2)「AをBと呼ぶ」は〈call + A + B〉で表す。
(3)「AをBと名づける」は〈name + A + B〉で表す。

2 (1)「私たちがこのテディベアをジョンと呼びます。」(2)「私たちがそのビルをシンビルと呼びます。」(3)「私たちがスマートフォンをスマホと呼びます。」

3 (1)「AをBと呼ぶ」は〈call + A + B〉で表す。
(2)「AをBと名づける」は〈name + A + B〉で表す。(3)「あなたは~を何と呼びますか」は、What do you call ~?で表す。

pp.86~87

びたトレ1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)ゆっくりな (2)人 (3)葉 (4)lazy
(5)quickly (6)judge

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)look disappointed (2)show me (3)call me Dave

3 (1)Your friends look kind(.)
(2)My grandfather named me Emma(.)
(3)I didn't send you an e-mail (4)What do you call this dog(?)

考え方

1 (1)「~に見える」は、形容詞を使う場合は〈look + 形容詞〉で表す。(2)「(人)に(もの)を買ってあげる」は〈buy + 人 + もの〉で表す。語順に注意する。(3)「AをBと呼ぶ」は〈call + A + B〉で表す。

- 2** (1)「～に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。
 (2)「(人)に(もの)を見せる」は〈show + 人 + 物〉で表す。(3)「AをBと呼ぶ」は〈call + A + B〉で表す。
- 3** (1)「親切そうだ」は「親切に見える」と考える。「～に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。
 (2)「AをBと名づける」は〈name + A + B〉で表す。(3)「(人)に(もの)を送る」は〈send + 人 + 物〉で表す。(4)「あなたは～を何と呼びますか」は、What do you call ~? で表す。

pp.88~89 びたトレ 1 (Target のまとめ③)

- 1** (1)ア (2)イ (3)イ
- 2** (1)Reading, is (2)wants to see[meet]
 (3)went, to do, yesterday
- 3** (1)My favorite thing to do is making cakes.(.) (2)I was excited to ride the roller coaster.(.) (3)Can you bring me something to drink(?) (4)Playing the guitar is not difficult for Yuta.(.)

考え方

- 1** (1)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で表す。(2)「人にとって～することは…です」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(3)「ゲームをするための時間」は形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。「～するための時間がない」は have no time to ~ となる。
- 2** (1)「本を読むこと」は動名詞を使って Reading books とし、これを主語とする。動名詞は 3 人称単数扱いなので、be 動詞は is。(2)「～したがっている」は〈want to + 動詞の原形〉で表す。(3)「～するために」は目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)で表す。「宿題をする」は do my homework。文末に「昨日」を表す yesterday を置く。
- 3** (1)「ケーキを作ること」は動名詞を使って making cakes とする。(2)「～に乗って興奮した」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って was excited to ride ~ と表す。(3)「何か飲み物」は「飲むための何か」と考え、これを形容詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って表す。(4)「ギターをひくこと」は動名詞を使って Playing the guitar とし、これを主語とする。

pp.90~91 びたトレ 1 (Target のまとめ④)

- 1** (1)ア (2)ア (3)イ
- 2** (1)is a teacher (2)study French (3)bought me a camera
- 3** (1)I like playing baseball.(.) (2)She showed us some pictures.(.) (3)One of my friends named the dog Pochi.(.) (4)This food looks delicious.(.)

考え方

- 1** (1)「とても速く泳ぐ」という性質を述べているので、現在形を用いる。〈主語 + 動詞〉だけの文。(2)「～に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。〈主語 + 動詞 + 補語〉の文。(3)「AをBと呼ぶ」は〈call + A + B〉で表す。〈主語 + 動詞 + 目的語 + 補語〉の文。
- 2** (1)「先生」は a teacher。「私の父 = 先生」の関係が成り立つので、a teacher は補語である。〈主語 + 動詞 + 補語〉の文。(2)「フランス語を勉強する」は study French。〈主語 + 動詞 + 目的語〉の文。(3)「(人)に(もの)を買ってあげる」は〈buy + 人 + 物〉で表す。〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉の文。
- 3** (1)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で表す。〈主語 + 動詞 + 目的語〉の文。(2)「(人)に(もの)を見せる」は〈show + 人 + 物〉で表す。〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉の文。(3)「AをBと名づける」は〈name + A + B〉で表す。〈主語 + 動詞 + 目的語 + 補語〉の文。(4)「おいしそう」は「おいしそうに見える」と考える。「～に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。〈主語 + 動詞 + 補語〉の文。

pp.92~93 びたトレ 1 (Let's Talk 6)

Words & Phrases

- (1)高校 (2)分 (3)よく (4)stop (5)shrine
 (6)museum
- 1** (1)イ (2)ア (3)イ
- 2** (1)Which bus goes (2)How often does
- 3** (1)Which train goes to Kita Hospital(?)
 (2)How often does the train come(?)
 (3)It comes every thirty minutes.(.)

考え方

- 1** (1)「どのバスが～に行きますか」は Which bus goes to ~? で表す。(2)「3つ目のバス停」は the third stop で表す。(3)「どのくらいの頻度で～が来ますか」は How often does ~ come? で表す。

2 (1)No.4 does.「4番(のバス)です。」と答えているので、目的地へ行くのはどのバスかたずねる Which bus goes to ~?の文にする。(2)It comes every twenty minutes.「それは20分ごとに来ます。」と答えているので、バスが来る頻度をたずねる How often does the bus come? の文にする。

3 (1)「どの電車が～に行きますか」は Which train goes to ~?で表す。(2)「～はどのくらいの頻度で来ますか」は How often does ~ come? で表す。(3)「～おきに」は every ~ で表すので、「30分おきに」は every thirty minutes となる。

の原形)で表す。〈for + 人〉の入る位置に注意。(3)「～してくれてありがとう。」は Thank you for ~ing. で表す。(4)「私の夢は～になることです。」は My dream is to be ~. で表す。

pp.94~95

びたトレ 1 (Project 2)

Words & Phrases

(1)芸能人 (2)イラストレーター (3)話し方の技術 (4)薬剤師 (5)reason (6)spread (7)children (8)nurse

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)want to, entertainer, future (2)likes taking care of (3)To, necessary for, to

3 (1)I want to be a professional soccer player(.) (2)It is necessary for students to study (3)Thank you for listening(.) (4)My dream is to be a teacher(.)

考え方

1 (1)「私の夢は～になることです。」は My dream is to be ~. で表せる。これはあこがれの職業を伝えるときに便利な表現。(2)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で表す。(3)「人が～することは必要だ」は〈It is necessary for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。

2 (1)「将来～になりたい」は want to be ~ in the future で表す。(2)「～することが好きだ」は〈like + 動名詞〉で表す。likeのあとには taking care of ~「～の世話をすること」が続く。(3)「～になるために」は、目的を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って to be ~ で表す。「人が～することが必要だ」は〈It is necessary for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。

3 (1)「～になりたい」は want to be ~ で、「プロのサッカー選手」は a professional soccer player で表す。(2)「人が～することが必要だ」は〈It is necessary for + 人 + to + 動詞

pp.96~97

びたトレ 2

1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)ア

2 (1)ウ (2)エ (3)イ (4)ア

3 (1)今日、あなたは学校で眠そうに見えました。(2)そのアシカはすばらしい演技を私たちに見せました。(3)このケーキはおいしいです。(4)電車はこの駅にどのくらいの頻度で来ますか。

4 (1)give us honey (2)the nectar of flowers (3)to dance (4)shows other bees the direction and

5 (1)They look shy.
(2)Because they don't want to drift apart when they are sleeping.

考え方

1 (1)「ケンが野球をするとき楽しそうに見えます。」〈look + 形容詞〉=「～に見える」(2)「私のおばは先週私にセーターをくれました。」〈give + 人 + もの〉=「(人)に(もの)をあげる」(3)「あなたの計画を私に教えてくださいませんか。」〈tell + 人 + もの〉=「(人)に(ものごと)を伝える[教える]」(4)「人々は彼をマックと呼びます。」〈call + A + B〉=「AをBと呼ぶ」

2 (1)「私は入浴するときいい気持ちになります。」〈feel + 形容詞〉=「～だと感じる」(2)「私の祖父は私たちに何冊かの本を送ってくれるでしょう。」〈send + 人 + もの〉=「(人)に(もの)を送る」(3)「私の父は先週末に私にケーキを買ってくれました。」〈buy + 人 + もの〉=「(人)に(もの)を買ってあげる」(4)「その女の子はその魚をニナと名づけました。」〈name + A + B〉=「AをBと名づける」

3 (1)〈look + 形容詞〉=「～に見える」(2)〈show + 人 + もの〉=「(人)に(もの)を見せる」(3)〈taste + 形容詞〉=「～な味がする」(4) How often does ~ come? =「どのくらいの頻度で～が来ますか」

4 (1)「(人)に(もの)を与える」は〈give + 人 + もの〉で表す。(2)2文目 They make honey from the nectar of flowers. 「そ

れらは花のみつからハチミツを作ります。」から、the nectar of flowersだとわかる。(3)「～し始める」は〈start to + 動詞の原形〉で表す。(4)〈show + 人 + もの〉「(人)に(もの)を示す」を使って表す。「人」の位置に「ほかのミツバチ(other bees)」を、「もの」の位置に「花のみつへの方向と距離(the direction and distance to the nectar)」を入れる。

全訳

ミツバチは私たちにハチミツを与えます。それらは花のみつからハチミツを作ります。それらはみつを見つけると、巣に戻って8の字を描いて踊り始めます。それらの踊りはほかのミツバチに花のみつへの方向と距離を示します。

5 (1)「ラッコが自分の足で目を覆うとき、どのように見えますか。」という質問。3文目にThey look shy「それらははづかしがり屋に見えます」とあるので、これをそのまま答える。(2)「なぜラッコは足を取り合うのですか。」という質問。最後の文にThey don't want to drift apart when they are sleeping.「それらは眠っているときに離ればなれになりたくないのです。」とあるので、ここから必要な部分を抜き出して答える。

全訳

ラッコはかわいくて人気のある動物です。それらはときどき足で自分の目を覆います。それらははづかしがり屋に見えますが、実際には、それらは自分の足を温めるためにそれをします。それらはときどき足を取り合います。それらは眠っているときに離ればなれになりたくないのです。

pp.98~99

びたトレ3

- 1 (1)× (2)○ (3)×
- 2 (1)ア (2)イ (3)ア
- 3 (1)looked angry (2)tell me his idea (3)named the rabbit Mimi
- 4 (1)He looked nervous when he was talking (2)I will send you a nice present (3)What did you call your mother
- 5 (1)looked sad (2)父親が美しい鳥を持っていたから。(3)gave her the bird (4)named it Sola
- 6 (1)You look tired.

考え方

- (2)I'll give you this pen.
- (3)My mother calls me Masa.

- 1 (1)「(爪のある動物の)足」「ゆっくりした」(2)「(～の)味がする」「変わる」(3)「頭」「ワシ」
- 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)2番目の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- 3 (1)「～に見える」=〈look + 形容詞〉(2)「(人)に(ものごと)を伝える[教える]」=〈tell + 人 + ものごと〉(3)「AをBと名づける」=〈name + A + B〉
- 4 (1)「～に見える」=〈look + 形容詞〉「(彼が)あなたと話しているとき」は過去進行形にしてwhen he was talking with youとする。(2)「(人)に(もの)を送る」=〈send + 人 + もの〉(3)「あなたは～を何と呼びましたか」= What did you call ~?
- 5 (1)「～に見える」は〈look + 形容詞〉で表す。lookを過去形にすることに注意。(2)前の文のHe had a beautiful bird with him.「彼は美しい鳥を持っていました。」がその理由と考えられる。Heはその前の文から父親だとわかる。「理由」をたずねているので、「～から」と答える。(3)「(人)に(もの)をあげる」は〈give + 人 + もの〉で表す。「人」と「もの」の順序をまちがえないように注意。(4)「AをBと名づける」は〈name + A + B〉で表す。

全訳

9月12日

今日、私の妹[姉]のミキは悲しそうに見えました。彼女の友だちのナナが彼女の両親といっしょに大阪に行ったのです。彼らはそこに住む予定なので、ミキはとても驚きました。私の母は心配してそのことについて父に話しました。

9月13日

私の父は今日早く帰りました。彼は美しい鳥を持っていました。ミキは驚きました。彼は彼女にその鳥をあげました。彼女は興奮していました。彼女はそれをソラと名づけました。彼女はそれの世話をするでしょう。

- 6 (1)「～に見える」なので〈look + 形容詞〉を使って表せばよい。(2)「(人)に(もの)をあげる」なので〈give + 人 + もの〉を使って表せばよい。「～するつもりだ」は意志を表すので、willを使えばよい。(3)「AをBと呼ぶ」なので〈call + A + B〉を使って表せばよ

い。My motherが主語なので、callsとすることに注意。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1)<look + 形容詞>が正しく使えている。
(2)<give + 人 + もの>が正しく使えている。
(3)<call + A + B>が正しく使えている。(5点)

Unit 7

pp.100~101

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

(1)わずかに (2)硬貨 (3)国 (4)湖 (5)重い
(6)list (7)area (8)kilometer (9)light
(10)than

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)larger than (2)lighter than
(3)younger than

3 (1)is smaller than Canada (2)is the highest
mountain in Japan (3)is the heaviest
of all

考え方

1 (1)「…より(も)～」は〈比較級(～er) + than
…〉で表す。(2)「…より(も)～」は〈比較級
(～er) + than …〉で表す。(3)「いちばん
～」は〈the + 最上級(～est)〉で表す。

2 (1)「この湖はあの湖よりも大きいです。」
largeのようにeで終わる語は比較級ではr
のみをつける。(2)「この硬貨はあの硬貨よ
りも軽いです。」(3)「メアリーはエミリーよ
りも若いです。」

3 (1)「…より(も)～」は〈比較級(～er) + than
…〉で表す。(2)「いちばん～」は〈the + 最上
級(～est)〉で表す。(3)「いちばん～」は
〈the + 最上級(～est)〉で表す。heavyのよ
うに「子音+y」で終わる語の最上級は、yを
取ってiestをつける。「すべての中で」はof
all。

pp.102~103

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

(1)調査 (2)～を含む (3)アジアの (4)ヨー
ロッパの (5)among (6)rose (7)useful
(8)expensive

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)more useful (2)more expensive than
(3)is more popular than

3 (1)is the most exciting sport (2)Is this
book more interesting than (3)That
singer is the most famous in

考え方

1 (1)「…より(も)～」は、長いつづりの語では
〈比較級(more ～) + than …〉で表す。(2)
「…より(も)～」は、長いつづりの語では〈比
較級(more ～) + than …〉で表す。(3)「い

ちばん～」は、長いつづりの語では〈the +
最上級(most ～)〉で表す。

2 (1)「このスマートフォンはあれより役に立ち
ます。」(2)「この自転車はあれより高いで
す。」(3)「日本では野球はバスケットボール
より人気があります。」

3 (1)「いちばん～」は、長いつづりの語では〈the
+ 最上級(most ～)〉で表す。(2)「…より(も)
～」は、長いつづりの語では〈比較級(more
～) + than …〉で表す。疑問文なのでIsが
最初にくる。(3)「最も～」は、長いつづりの
語では〈the + 最上級(most ～)〉で表す。

pp.104~105

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

(1)平均の (2)寿命 (3)食事 (4)秘訣
(5)jump (6)high (7)turtle (8)fourth

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)as nice as (2)as fast as (3)as old as

3 (1)is as popular as baseball (2)Is this
camera as expensive as (3)eat as fast
as your father

考え方

1 (1)「…と同じくらい～」は〈as + 形容詞 + as
…〉で表す。(2)「…と同じくらい～」は〈as
+ 形容詞 + as …〉で表す。(3)「…と同じく
らい～」は〈as + 副詞 + as …〉で表す。

2 (1)「あなたの帽子は私の帽子と同じくらいす
てきです。」(2)「私はあなたと同じくらい速
く泳げます。」(3)「あなたは私の兄[弟]と同
じくらいの年です。」

3 (1)「…と同じくらい～」は〈as + 形容詞 + as
…〉で表す。(2)「…と同じくらい～」は〈as
+ 形容詞 + as …〉で表す。疑問文なのでIs
が最初にくる。(3)「…と同じくらい～」は
〈as + 副詞 + as …〉で表す。

pp.106~107

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

(1)～を推測する (2)サッカー (3)ちがう
(4)both (5)dribble (6)court

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)is higher[taller] (2)tallest player
(3)both, and

3 (1)Emily studied harder than me.(.)
(2)Mike is more famous than Howard in
my school.(.) (3)is the most exciting

attraction for me (4)Both I and my brother like summer(.)

考え方

1 (1)「…より(も)～」は〈比較級(～er) + than …〉で表す。(2)「いちばん～」は〈the + 最上級(～est)〉で表す。(3)「…より(も)～」は、長いつづりの語では〈比較級(more ～) + than …〉で表す。

2 (1)「AとBはどちらが(より)～ですか」は〈Which is + 比較級, A or B?〉で表す。(2)「いちばん～」は〈the + 最上級(～est)〉で表す。(3)「AとBの両方とも」はboth A and Bで表す。

3 (1)「…より(も)～」は〈比較級(～er) + than …〉で表す。(2)「…より(も)～」は、長いつづりの語では〈比較級(more ～) + than …〉で表す。(3)「最も～」は、長いつづりの語では〈the + 最上級(most ～)〉で表す。(4)「AとBの両方とも」はboth A and Bで表す。

pp.108~109

びたトレ 1 (Let's Talk 7)

Words & Phrases

(1)ジャケット (2)セーター (3)安い (4)coat (5)different (6)color

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)looking (2)try, on (3)bigger one

3 (1)Can I try this hat on?(2)It's too big for me.(.) (3)Do you have anything cheaper(?)

考え方

1 (1)「～を探す」はlook for ～で表す。(2)「～を試着する」はtry ～ onで表す。(3)「別の色」はa different colorで表す。

2 (1)「こちらはいかがですか。」とすすめられているので、「～を探しています」という文にする。「～を探す」はlook for ～で表す。(2)品物をすすめられたので、「試着してもいいですか」という文にする。「～を試着する」はtry ～ onで表す。(3)「それは小さすぎます。」と言ったあとに続くので、「もっと大きいものはありますか」という文にする。「もっと大きいもの」はa bigger oneで表す。

3 (1)「～をかぶってみてもいいですか」はCan I try ～ on?で表す。(2)「それは私には～すぎます」はIt's too ～ for me.で表す。(3)「～はありますか」はDo you have ～?で、「もっと安いもの」はanything cheaperで表す。

pp.110~111

びたトレ 2

1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)ア

2 (1)ウ (2)イ (3)イ (4)ウ

3 (1)バチカン市国は世界でいちばん小さい国です。(2)私にとっていちばん役に立つものはスマートフォンです。(3)彼は彼の先生と同じくらい上手にギターをひきます。(4)イタリアの人々はカナダの人々と同じくらい長く生きます。

4 (1)life (2)longest (3)as long as people in (4)a healthy diet

5 (1)He was surprised to see that soccer is more popular than baseball. (2)Tennis is.

考え方

1 (1)「信濃川は日本でいちばん長い川です。」「いちばん～」=〈the + 最上級(～est)〉 (2)「この映画はあの映画よりも短いです。」「…よりも～」=〈比較級(～er) + than …〉 (3)「このペンは3本の中でいちばん高いです。」「いちばん～」(長いつづりの語の場合)=〈the + 最上級(most ～)〉 (4)「私のかばんはあなたのかばんと同じくらい重いです。」「…と同じくらい～」=〈as + 形容詞 + as …〉

2 (1)「私はあなたと同じくらい一生けんめいに数学を勉強します。」「…と同じくらい～」=〈as + 副詞 + as …〉 (2)「この腕時計は私の腕時計より高いです。」「…より(も)～」(長いつづりの語の場合)=〈比較級(more ～) + than …〉 (3)「私にとっていちばん大切なものは野球です。」「いちばん～」(長いつづりの語の場合)=〈the + 最上級(most ～)〉 (4)「私の祖父は私の家族の中でいちばん早く起きます。」「いちばん～」=〈the + 最上級(～est)〉 副詞earlyの最上級はearliest。

3 (1)〈the + 最上級(～est)〉=「いちばん～」 smallestはsmall「小さい」の最上級。(2)〈the + 最上級(most ～)〉=「いちばん～」 The most useful thing to meが主語。(3)〈as + 副詞 + as …〉=「…と同じくらい～」 (4)〈as + 副詞 + as …〉=「…と同じくらい～」

4 (1)平均寿命はaverage life expectancyで表す。(2)直前にtheがあり、直後にin the world「世界で」があるので、最上級longestにする。(3)asが2つと副詞longがあるので、「…と同じくらい～」を表す(as + 副詞 + as …)の形にする。(4)最後の文I think a healthy diet is the key to a long life.

「ぼくは健康な食事が長生きの秘訣だと思います。」から、a healthy dietがふさわしい。the key to ~ = 「~の秘訣」

全訳

ソラ：この表は世界の平均寿命のランキングを示しています。日本の人々は世界でいちばん長く生きます。

チェン：あっ、シンガポールは4番目です。シンガポールの人々はオーストラリアとフランスの人々と同じくらい長く生きます。

ソラ：ぼくは健康な食事が長生きの秘訣だと思います。

5 (1)「ソラは男子の間で人気のあるスポーツを知ったとき、どのように感じましたか。」という質問。ソラの発言の2文目にI'm surprised to see that soccer is more popular than baseball. 「ぼくはサッカーが野球より人気があるのを見て驚いています。」とあるので、ソラは驚いたとわかる。応答では、質問に合わせて過去の文にし、He was surprisedで始める。(2)「女子の間でいちばん人気のあるスポーツは何ですか。」という質問。アオイの発言の1文目Tennis is the most popular among girls. 「テニスは女子の間でいちばん人気があります。」から、テニスが女子の間でいちばん人気があるとわかる。質問はWhatが主語なので、応答ではTennisを主語にして、isのあとは省略するとよい。

全訳

ベル先生：この表を見てください。それは日本の中学生の間で人気のあるスポーツを示しています。

ソラ：サッカーが男子の間でいちばん人気があります。ぼくはサッカーが野球より人気があるのを見て驚いています。

アオイ：テニスは女子の間でいちばん人気があります。たくさんの女子が私たちの学校でテニス部に所属しています。

pp.112~113

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)× (3)○
- 2 (1)イ (2)イ (3)ア
- 3 (1)is the hottest (2)is more expensive than (3)is as long as
- 4 (1)can swim faster than Ken (2)is the

most popular city in (3)Can you jump as high as

- 5 (1)fastest (2)イヌとウサギではどちらが速いですか。(3)run as fast as
- 6 (1)My brother is taller than I. (2)The most important thing to me is my family. (3)I get up as early as my mother.

考え方

- 1 (1)「わずかに」「高く」(2)「(スポーツ競技の)コート」「カメ」(3)「バラ」「(衣服の)コート」
- 2 (1)2番目の音節を強く読む。(2)2番目の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- 3 (1)「いちばん～」=〈the + 最上級(～est)〉hotの最上級はhottest。(2)「…より(も)～」(長いつづりの語の場合)=〈比較級(more ～) + than …〉(3)「…と同じくらい～」=〈as + 形容詞 + as …〉
- 4 (1)「…より(も)～」=〈比較級(～er) + than …〉(2)「いちばん～」(長いつづりの語の場合)=〈the + 最上級(most ～)〉(3)「…と同じくらい～」=〈as + 副詞 + as …〉
- 5 (1)「いちばん～」は〈the + 最上級(～est)〉で表す。(2)fasterはfast「速い」の比較級。〈Which is + 比較級, A or B?〉で「AとBはどちらが(より)～ですか」という意味。(3)「…と同じくらい～」は〈as + 副詞 + as …〉で表す。

全訳

ミキ：ケン、このテレビ番組はおもしろそうだよ。

ケン：えっ、それは動物についてのものなの？

ミキ：そうだよ。その番組名は「いちばん速い動物はどれか」だよ。

ケン：それはチータだと思うよ。

ミキ：そのとおり。では、イヌとウサギではどちらが速い？

ケン：うーん…イヌかな？

ミキ：いいえ。ウサギだよ。そしてダチョウはカンガルーと同じくらい速く走るということを知ってた？

- 6 (1)「背が高い」はtall。「…より(も)～」は〈比較級(～er) + than …〉で表す。(2)「自分にとっていちばん大切なこと」を主語にする。「いちばん～」は、長いつづりの語では〈the + 最上級(most ～)〉で表す。(3)「早く起き

る」はget up early。「…と同じくらい～」は〈as + 副詞 + as …〉で表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1)〈比較級(～er) + than …〉が正しく使えている。(2)〈the + 最上級(most ～)〉が正しく使えている。(3)〈as + 副詞 + as …〉が正しく使えている。(5点)

Unit 8

pp.114~115

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)スペイン語 (2)写真 (3)城 (4)観光客
(5)書道 (6)love (7)written (8)spoken
(9)built (10)taken

- 1** (1)ア (2)イ (3)イ
2 (1)visited by many tourists (2)built by a king (3)loved around the world
3 (1)were collected by the students (2)are loved by many people (3)is spoken in Japan

考え方

- 1** (1)「～され(て)いる」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉で表す。(2)「～された」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉で表す。過去のことなのでbe動詞はwas。(3)「～され(て)いる」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉で表す。
2 (1)「奈良は多くの観光客に訪れられています。」(2)「この城はある王によって建てられました。」(3)「マンガは世界中で愛されています。」
3 (1)「～された」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉で表す。過去のことなのでbe動詞は過去形になる。「～によって」はby～。 (2)「～され(て)いる」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉で表す。(3)「～され(て)いる」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉で表す。

pp.116~117

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)品物 (2)車 (3)一般に (4)電気の (5)広く
(6)lamp (7)Internet (8)stamp (9)deliver
(10)deal with

- 1** (1)イ (2)ア (3)イ
2 (1)this smartphone made (2)Was this book written (3)Was that castle built
3 (1)Is that bike used by your (2)The player is not included on (3)Was your cat found in the

考え方

- 1** (1)「中国製ですか」は「中国で製造されましたか」と考える。受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉の疑問文にする。be動詞を主語の前に置く。(2)「配達されますか」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉の疑問文で表す。be動詞

を主語の前に置く。(3)「話されていません」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉の否定文で表す。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。

- 2** (1)「このスマホは日本製ですか。」(2)「この本は彼によって書かれたのですか。」(3)「あの城は1618年に建てられたのですか。」
3 (1)「使われますか」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉の疑問文で表す。be動詞を主語の前に置く。(2)「含まれていません」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉の否定文で表す。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。(3)「見つけられましたか」は受け身の〈be動詞 + 過去分詞〉の疑問文で表す。be動詞を主語の前に置く。

pp.118~119

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)もとのところへ (2)～を引きつける (3)写
真家 (4)野生の (5)ancient (6)seen
(7)publish (8)repair

- 1** (1)イ (2)イ (3)イ
2 (1)will be repaired (2)can be found (3)will be published
3 (1)will be seen in Kyoto (2)The computer will be delivered to our office on (3)will be used for the cake

考え方

- 1** (1)「見つけられる」は助動詞を含む受け身の〈can be + 過去分詞〉で表す。(2)「開けられるだろう」は助動詞を含む受け身の〈will be + 過去分詞〉で表す。(3)「使える」は「使われることができる」と考え、助動詞を含む受け身の〈can be + 過去分詞〉で表す。
2 (1)「私の自転車はその店で修理されるでしょう。」(2)「白いトラはインドで見つけられます。」(3)「彼女の新しい小説はまもなく出版されるでしょう。」
3 (1)「見られるだろう」は助動詞を含む受け身の〈will be + 過去分詞〉で表す。(2)「～される予定だ」は助動詞を含む受け身の〈will be + 過去分詞〉で表す。(3)「使われるだろう」は助動詞を含む受け身の〈will be + 過去分詞〉で表す。be used for ～で「～のために使われる」の意味になる。

Words & Phrases

(1)インタビューする人 (2)～を殺す (3)～を隠す (4)price (5)smell (6)pleasure

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)Can you (2)Is, sold (3)can be bought

3 (1)I have an interview with Mr. Yamada.(.)

(2)This house was built in 1990.(.)

(3)The story was not written by her.(.)

(4)Chocolate will not be used in the cake.(.)

考え方

1 (1)「～された」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉で表す。(2)「～された」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉で表す。(3)「使われるだろう」は助動詞を含む受け身の〈will be+過去分詞〉で表す。

2 (1)「～してくれますか」はCan you ~?で表す。(2)「売られていますか」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉の疑問文で表す。be動詞を主語の前に置く。(3)「買える」は「買われることができる」と考え、助動詞を含む受け身の〈can be+過去分詞〉で表す。

3 (1)「～にインタビューする」はhave an interview with ~で表す。(2)「～された」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉で表す。過去のことなのでbe動詞は過去形になる。(3)「書かれてはいません」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉の否定文で表す。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。(4)「使われないだろう」は助動詞を含む受け身の〈will be+過去分詞〉の否定文で表す。助動詞とbeの間にnotを置く。

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)faster than (2)the best of (3)as busy as

3 (1)The Tokyo Tower is higher than the Eiffel Tower.(.) (2)This guitar is the most important of all (3)His watch is more expensive than mine.(.) (4)I like English as much as math.(.)

考え方

1 (1)「…より(も)～」は〈比較級(～er)+than...〉で表す。(2)「いちばん～」は〈the+最上級(～est)〉で表す。(3)「…と同じくらい～」は〈as+形容詞+as...〉で表す。

2 (1)「サトシはトモヤよりも速く走ります。」(2)「彼女はすべての季節の中で秋がいちばん好きです。」「～がいちばん好きだ」はlike ~ the bestで表す。(3)「ミカはアヤほどいそがしくありません。」

3 (1)「…より(も)～」は〈比較級(～er)+than...〉で表す。(2)「いちばん～」は、長いつづりの語では〈the+最上級(most ~)〉で表す。(3)「…より(も)～」は、長いつづりの語では〈比較級(more ~)+than...〉で表す。(4)「…と同じくらい～」は〈as+副詞+as...〉で表す。like ~ as much as ...で「…と同じくらい～が好きだ」の意味になる。

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)sold by (2)was built (3)was cooked by

3 (1)This watch was bought by Ken

(2)These pictures were not taken in America.(.) (3)Was the key found by her(?) (4)The sweater can be washed in your house.(.)

考え方

1 (1)「～され(て)いる」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉で表す。(2)「～されたのではない」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉の否定文で表す。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。(3)「～されるだろう」は助動詞を含む受け身の〈will be+過去分詞〉で表す。

2 (1)「このドレスはある有名な女性によって売られました。」(2)「その博物館は1872年に建てられました。」(3)「夕食のカレーは私の母によって料理されました。」

3 (1)「～された」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉で表す。過去のことなのでbe動詞は過去形になる。「～によって」はby ~。(2)「～されたのではない」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉の否定文で表す。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。(3)「～されたのですか」は受け身の〈be動詞+過去分詞〉の疑問文で表す。be動詞を主語の前に置く。(4)「洗うことができる」は「洗われることができる」と考える。「～されることができる」は、助動詞を含む受け身の〈can be+過去分詞〉で表す。

Words & Phrases

- (1)どうしたの? (2)計画 (3)いいですね。
(4)movie (5)shopping (6)let's

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)up (2)you like (3)love to

3 (1)Would you like to go shopping with me (2)I have plans on that day(.)
(3)Why don't we have lunch together(?)
(4)How about going fishing with me(?)

考え方

- 1 (1)「～しませんか」とすすめたり誘ったりするときは、Would you like to ~?を使う。
(2)「～しませんか」と提案したり誘ったりするときは、Why don't you ~?と言う場合もある。(3)「～しませんか」と誘われて、「ぜひそうしたいです。」と言うときはI'd love to.で表す。
- 2 (1)電話であいさつをして何の用か軽くたずねているので、What's up?とする。(2)相手がSounds great.「いいね。」と答えているので、「～しませんか」と相手を誘う Would you like to ~?の形にする。(3)相手に誘われてそれを受け入れているので、「ぜひそうしたいです。」を表すI'd love to.とする。
- 3 (1)「～しませんか」はWould you like to ~?で表す。(2)「予定がある」はhave plansで、「その日は」はon that dayで表す。(3)「(いっしょに)～しませんか」はWhy don't we ~?で表す。(4)「～することはどうですか」はHow about ~ing ...?で表す。

Words & Phrases

- (1)国[田舎] (2)第一に (3)より(もっと) (4)自然 (5)きれいな (6)city (7)second
(8)convenient (9)hike (10)job

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)Which, like better (2)First, more convenient than (3)What, want to buy

3 (1)I like rice better than bread(.) (2)we can feel relaxed in the country (3)I have two reasons(.)

考え方

- 1 (1)「…より～が好きだ」はlike ~ better than ...で表す。語順に注意。(2)「～することができる」は<can + 動詞の原形>で表す。

(3)「田舎」はcountryで表す。

2 (1)「AとBでは、あなたはどちらがより好きですか」は、Which do you like better, A or B?で表す。(2)「第一に」はfirstで表す。「…より(も)～」は、長いつぶりの語では<比較級(more ~) + than ...>で表す。more convenient than ~で「～よりも便利だ」となる。(3)疑問詞のwhat「何を」を文頭に置いた疑問文にする。「～したい」は<want to + 動詞の原形>で表す。

3 (1)「…より～が好きだ」はlike ~ better than ...で表す。(2)「リラックスする」はfeel relaxedで、「田舎では」はin the countryで表す。(3)「2つ理由がある」はhave two reasonsで表す。2つの理由を述べるときの前置きの表現として覚えておく。

1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)イ

2 (1)ウ (2)エ (3)ウ (4)ウ

3 (1)Baseball is played by a lot of children.
(2)Was this cake made by his sister?
(3)Dolphins are not[aren't] seen in the zoo. (4)The new shop will be visited by many people.

4 (1)with (2)as (3)Is English spoken in (4)イ

5 (1)Because she fell in love with wild animals in Africa. (2)Because ivory is sold at a high price.

考え方

- 1 (1)「この写真はブラジルでとられました。」受け身(<be動詞 + 過去分詞>)の過去の文。be動詞が過去形となる。(2)「このジャムはあなたによって作られているのですか。」受け身(<be動詞 + 過去分詞>)の疑問文。be動詞を主語の前に置く。(3)「英語はこの国で話されていません。」受け身(<be動詞 + 過去分詞>)の否定文。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。(4)「その新しい公園は多くの人々によって訪れられるでしょう。」助動詞を含む受け身の<will be + 過去分詞>の文。
- 2 (1)「これらの絵はトムによってかかれました。」受け身(<be動詞 + 過去分詞>)の過去の文で主語が複数なので、be動詞は過去形のwereとなる。(2)「このアイスクリームはその店で売られていません。」受け身(<be動詞

+過去分詞)の否定文。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。(3)「この部屋はあなたによって掃除されているのですか。」受け身(〈be動詞+過去分詞〉)の疑問文。be動詞を主語の前に置く。(4)「このスープは簡単に作ることができます。」助動詞を含む受け身の〈can be+過去分詞〉の文。

- ◆3 (1)受け身(〈be動詞+過去分詞〉)の文にする。書きかえた文の意味は「野球はたくさんの子どもたちによってプレーされます。」となる。(2)受け身(〈be動詞+過去分詞〉)の疑問文にする。be動詞を主語の前に置く。書きかえた文の意味は「このケーキは彼の姉[妹]によって作られましたか。」となる。(3)受け身(〈be動詞+過去分詞〉)の否定文にする。be動詞と過去分詞の間にnotを置く。書きかえた文の意味は「イルカはその動物園では見られません。」となる。(4)助動詞を含む受け身の〈will be+過去分詞〉の文にする。書きかえた文の意味は「その新しい店は多くの人々によって訪れられるでしょう。」となる。

- ◆4 (1)「～を扱う」はdeal with ～で表す。(2)「～のような」はsuch as ～で表す。(3)be動詞isと過去分詞spokenがあり文末が?なので、受け身(〈be動詞+過去分詞〉)の疑問文にする。(4)最後の文にEnglish is not spoken generally, but Arabic and French are spoken widely.とあり、英語は一般に話されていないが、アラビア語とフランス語は広く話されているということなので、アは合わず、イが合う。ウについては本文では書かれていない。

全訳

私はモロッコである会社に勤めています。その会社は食器やランプのようないろいろな品物を扱っています。それらはインターネットで買うことができます。モロッコで英語は話されているでしょうか。答えは「いいえ」です。英語は一般に話されていませんが、アラビア語とフランス語は広く話されています。

- ◆5 (1)「なぜ滝田医師は獣医師たちのチームに加わったのですか。」という質問。インタビューする人が最初の質問で、どうしてその仕事を選んだのかをたずねているのに対して、滝田医師はI fell in love with wild animals in Africa.と答え、続いてまずボランティアになってから獣医師たちのチームに加わったと言っている。したがって、

獣医師たちのチームに加わった理由はアフリカの野生動物に恋したからだとわかる。質問はWhy ～?なので、応答はBecauseで始め、主語はsheとする。(2)「なぜ密猟者たちはゾウを殺すのですか。」という質問。滝田医師の最後の発言のElephants are killed for ivory. Poachers know ivory is sold at a high price.から、密猟者は象牙が高く売れるためにゾウを殺すとわかる。質問はWhy ～?なので、応答はBecauseで始める。

全訳

インタビューする人：まず最初に、どうしてあなたはあなたの仕事を選んだのですか。

滝田医師：私はアフリカの野生動物に恋したのです。最初、私はボランティアとしてスタートしました。それから私は野生動物を救うために獣医師のチームに加わりました。

インタビューする人：マサイ・マラでは何が起きているのですか。

滝田医師：ゾウが象牙のために殺されています。密猟者は象牙が高値で売れることを知っているのです。

pp.132~133

びたトレ3

- ① (1)× (2)× (3)×
 ② (1)ア (2)イ (3)イ
 ③ (1)is spoken by (2)Is cheese made (3)can be seen from
 ④ (1)was created by a famous artist (2)is not watched by many people (3)More and more people will be attracted to
 ⑤ (1)was read by (2)it will be repaired by the people (3)ウ
 ⑥ (1)My house was built last year. (2)Was the novel written by you? (3)Beautiful birds can be seen in the park.

- ① (1)「ランプ」「古代の」(2)「野生の」「writeの過去分詞形」(3)「扱う」「喜び」
 ② (1)最初の音節を強く読む。(2)2番目の音節を強く読む。(3)2番目の音節を強く読む。
 ③ (1)「～されている」なので、受け身の〈be動詞+過去分詞〉にする。主語が3人称単数で現在のことなので、be動詞はis。(2)「～さ

れていますか」なので、受け身(〈be動詞＋過去分詞〉)の疑問文にする。be動詞Isを主語の前に置く。(3)「見えます」は「見られることができます」と考え、助動詞を含む受け身の〈can be＋過去分詞〉を使ってcan be seenとする。

4 (1)「～された」なので、受け身(〈be動詞＋過去分詞〉)の過去の文にする。(2)「～されていない」なので、受け身(〈be動詞＋過去分詞〉)の否定文にする。(3)「～されるだろう」なので、助動詞を含む受け身の〈will be＋過去分詞〉の文にする。「ますます多くの～」はmore and more ～で、「～に引きつけられる」はbe attracted to ～で表す。

5 (1)「～に読まれた」なので、受け身(〈be動詞＋過去分詞〉)の過去の文にする。「～に」はby ～で表す。(2)「修理されるでしょう」なので、助動詞を含む受け身の〈will be＋過去分詞〉の文にする。(3)この下線部③は直前のマークの発言を受けたもので、theyがthe people of the library「図書館の人々」を、will do soがwill repair it(the book)「それ(=本)を修理する」という内容を指している。したがって、ウが適切。

全訳

マーク：やあ、アユ。きみはこの図書館で宿題をしようとしているの？

アユ：こんにちは、マーク。いいえ。私はある本を探すためにここに来て、それを見つけたの！

マーク：えっ、それがその本なの？ それはとても古く見えるね。

アユ：ええ。私はそれは多くの人々に読まれたと思う。それはもうすぐ壊れるね。

マーク：ええと、ぼくはそれは図書館の人々によって修理されると思うよ。

アユ：本当？ 彼らがそうしてくれるといいと思うよ。

6 (1)「建てられた」なので、受け身(〈be動詞＋過去分詞〉)の過去の文にする。主語がMy houseなのでbe動詞はwasを使う。(2)「書かれましたか」という文になるので、受け身(〈be動詞＋過去分詞〉)の過去の疑問文にする。疑問文なのでWasを主語の前に置く。(3)「見られる」は「見られることができる」と考え、助動詞を含む受け身の〈can be＋過去分詞〉の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- 正しい文法で書けている。(1点)
- (1)〈be動詞＋過去分詞〉が正しく使えている。(2)〈be動詞＋過去分詞〉の疑問文が正しく作れている。(3)〈can be＋過去分詞〉が正しく使えている。(5点)

Let's Read

p.134

びたトレ1

1 (1)イ (2)ア

2 (1)Be quiet (2)Thank, for carrying

考え方

1 (1)解答部分の直後が名詞のa castleなので、「～のように見える」は〈look like + 名詞〉で表す。(2)解答部分の直後が形容詞のhungryなので、「～なように見える」は〈look + 形容詞〉で表す。

2 (1)〈be 動詞 + 形容詞〉の命令文はBe ~.となる。(2)「～してくれてありがとう」はThank you for ~ing ...で表す。

pp.135~136

びたトレ2

1 (1)ア (2)イ (3)イ (4)ア

2 (1)put, on (2)ran away (3)all you want
(4)Thank you for inviting

3 (1)He was scared of my dog.(.) (2)I must
read two books a week.(.) (3)This house
is large enough for my family.(.)
(4)Newspapers are hard to understand.(.)

4 (1)ウ (2)おいしそうだ。(3)this tiger said
he wanted

5 (1)They put a lion into the tiger's cage.
(2)They see the greatest fight between
the lion and the tiger.

考え方

1 (1)「彼は疲れているように見えます。」解答部分の直後が形容詞のtiredなので、〈look + 形容詞〉の形にする。(2)「あなたのお母さんはあなたのお姉さん[妹さん]のように見えます(=お姉さん[妹さん]にそっくりです)。」解答部分の直後が名詞のyour sisterなので、〈look like + 名詞〉の形にする。(3)「私たちの先生がすぐに来ます。」soon「すぐに」ということは少し先の未来のこと。comeやgoの進行形は近い未来を表すことができる。(4)「私はあなたにこのドレスをあげるつもりです。」「(人)に(もの)をあげる」は〈give + 人 + もの〉で表す。

2 (1)「～を着る」= put ~ on (2)「逃げる」= run away。runの過去形はran。(3)「好きなだけ」= all you want (4)「～してくれてありがとう」= Thank you for ~ing ...

3 (1)「～におびえている」= be scared of ~

(2)「～につき」= a ~ read two books a weekで「1週につき2冊の本を読む」の意味となる。(3)「…に十分～な」= ~ enough for ... enoughは形容詞を後ろから修飾する。(4)「～するのが難しい」= 〈hard to + 動詞の原形〉

4 (1)There are ~.で「～がいます」の意味を表すことができる。(2)goodは形容詞で〈look + 形容詞〉「～に見える」の形になっている。この文はIt looks good.から主語Itを省略した形。このItは直前の文のice creamのことで、次の文にはhungry「おなかがかすいた」とあることから、goodの意味は「おいしい」とするのが適切。(3)「言った」はsayの過去形のsaidで表す。「ほしいと言った」は過去のことなので、「ほしい」は過去形のwantedで表す。

全訳

喜六：うわー。たくさんの子どもがいるぞ。
ん？ あはは、この子はおれをこわがっているな。おれが本物のトラじゃないとわからないんだ！ おや、この子は手にアイスクリームを持っている。おいしそうだな。ちょうどおなかがかすいてきたんだ。おい、小僧、そのアイスクリームをおれにくれ！

子ども：ママ、このトラがぼくのアイスクリームがほしいって言ったよ。

母親：いいえ、トラはアイスクリームを食べませんよ。トラは肉を食べるの。

5 (1)「彼らはトラのおりの中に何を入れますか。」という質問。3文目にput the lion into the tiger's cage「ライオンをトラのおりの中に入れる」とあるので、これをもとに答える。(2)「おりの前で人々は何を見ますか。」という質問。「ライオンをトラのおりの中に入れる」と述べた直後の4文目で、The greatest fight between the lion and the tiger!「ライオンとトラの最強の戦いです！」と言っている。

全訳

本日はお越しいただき誠にありがとうございます。ただいま、皆さまに特別なイベントがあります。ここまでライオンのおりを持ってきて、そのライオンをトラのおりに入れようと思いません。ライオンとトラの最強の戦いです！ お集まりください！

定期テスト予想問題

〈解答〉 pp.138~147

pp.138~139

予想問題 1

出題傾向

* There is[are] ~., 過去進行形, 接続詞when, 助動詞must, be going to ~の文などが問われる。

- ① (1)D (2)excited (3)ですから, 次回パリに行くときにはそれら(行けなかった他の美術館)を訪れるつもりです。(4)ア (5)イ
- ② (1)There is a beautiful picture by the window.(.) (2)always helps her sister when she is in trouble (3)He was drinking coffee at that time.(.)
(4)Women must cover their hair in mosques.(.)
- ③ (1)I'm next to the library.
(2)Are you going to see a movie tomorrow?
(3)I do not[don't] have to arrive at school by 8:00.
- ④ (1)going to (2)must not

考え方

- ① (1)与えられた文は「パリには他にも有名な美術館があります。」という意味。これらの美術館についてはHowever, we didn't have enough time, so we could not go to them.の文で述べられているので, その文の直前にあるDが正解。(2)「とても興奮している」はbe very excitedで表す。(3)この文のwhenは接続詞で「~するとき」の意味を表している。(4)前の文に引き続いて次回パリに行ったときのことを述べているので, 「それから, 次に」といった意味を表すアのThenが正解。(5)最後の文で「そして, フランスに興味をわいてフランス語を学ぶつもりなので, 地元の人々とも話したいです。」と述べているので, イが正解。

全訳

私にはおばがいます。彼女はパリに住んでいます。この前の夏に私は両親と彼女を訪れました。彼女は私たちをたくさんの興味深い場所へ連れていってくれました。ルーブル美術館はそ

れらの一つでした。私たちはルーブル美術館で多くの有名な絵を見ました。それらがすばらしかったので, 私はとても興奮しました。パリには他にも有名な美術館があります。ですが, 十分な時間がなかったので, それらへ行くことができませんでした。ですから, 次回パリに行くときにはそれらを訪れるつもりです。そして, フランスに興味をわいてフランス語を学ぶつもりなので, 地元の人々とも話したいです。

- ② (1)「…のそばに~がある」はThere is ~ by ...の形で表す。(2)「~のとき」は接続詞whenで表す。文頭がSheなのでwhen ~は文の後半にくる。(3)「~を飲んでいた」は過去進行形で表す。(4)与えられた語の中で「~しなくてはいけない」を表すのはmust。mustは助動詞なので, その後ろには動詞の原形のcoverがくる。
- ③ (1)「~の横に」はnext to ~で表す。(2)be going to ~の疑問文では, be動詞を主語の前に置く。(3)have to ~の否定文ではdo not[don't]またはdoes not[doesn't]を使う。主語がIなのでdo not[don't]をhaveの前に置く。
- ④ (1)予定をbe going to ~の文でたずねられているので, be going to ~の文で答える。(2)返答でI'm sorry.「ごめんなさい。」と謝っているので, 「写真をとってはいけない」と言っていると考えることができる。「~してはいけない」はmust not ~で表す。

出題傾向

*接続詞if, because, thatの文などが問われる。
それぞれの意味と使い方を押さえておく。

- ① (1)B (2)もし雨が降ったら, ぼくたちは練習する必要はありません。(3)that (4)工 (5)イ
- ② (1)want to play tennis if it's sunny tomorrow (2)is tired because he practiced dancing hard (3)Did you know that she is good at dancing(?)
(4)should go to the restaurant if you are interested
- ③ (1)if (2)that (3)because
- ④ (1)彼女は毎日一生けんめい勉強していたので, 彼女は答えを見つけることができます。
(2)If you have a fever, you should go to bed.

- ① (1)becauseは接続詞で「～だから」の意味で理由を表す。becauseの後ろには〈主語+動詞〉がくるのでBが正解。(2)文頭のIfは接続詞で「もし～なら」の意味を表す。(3)I knowの後ろにI'm not ~という文の形が続いているので, knowの直後で「～ということ」の意味を表す接続詞のthatが省略されている。(4)前の文に「チームメートのケンが体育館に来て, ぼくといっしょに練習しました。」とあるので, 「ぼくにはいいチームメートがいます。」の意味になるhaveの工が正解。(5)6文目で「なのでチームメートはたいい帰宅しますが, 試合でいいプレーをしたいので, ぼくはひとりで体育館で練習します。」と述べているので, イが正解。

全訳

ぼくは野球部の一員です。そこには15人の部員がいます。ぼくたちはふつう放課後に野球の練習をします。でも, 来月重要な野球の試合があるので, 今月ぼくたちは土曜日と日曜日も練習しています。もし雨が降ったら, ぼくたちは練習する必要はありません。なのでチームメートはたいい帰宅しますが, 試合でいいプレーをしたいので, ぼくはひとりで体育館で練習します。自分がいい選手ではないことはわかっているのに, いつもけんめいに練習してい

考え方

- ます。今日は雨でしたが, ぼくはひとりでありませんでした。チームメートのケンが体育館に来て, ぼくといっしょに練習しました。ぼくにはいいチームメートがいます。
- ② (1)「もし～なら」は接続詞ifで表す。文頭がIなのでif ~は文の後半にくる。(2)「～なので」は接続詞becauseで表す。文頭がHeなのでbecause ~は文の後半にくる。(3)「～ということを知っている」は, 接続詞thatを使ってknow that ~で表す。(4)「もし～なら」は接続詞ifで表す。文頭がYouなのでif ~は文の後半にくる。「～するほうがいい」は助動詞shouldで表す。
- ③ (1)「あなたがいきそがしいなら私が服を洗いましょう。」とすると意味が通じるのでifが正解。(2)「私は～だと思ふ」とすると意味が通じるのでthatが正解。(3)「暑かったので窓を開けた」とすると意味が通じるのでbecauseが正解。
- ④ (1)think that ~で「～だと思ふ」の意味になる。becauseは接続詞で「～(な)ので」の意味を表す。(2)「もし～なら」は接続詞ifで表す。「～するほうがいい」は助動詞shouldで表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (2)「もし～なら」をifを使って表せている。(8点)

出題傾向

＊動名詞を使った文や不定詞の3つの用法(名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法)などが問われます。

- ① (1)B (2)seeing (3)他の人たちに何かをしてあげることが私にとって楽しいです。
(4)ア (5)ウ
- ② (1)Practicing the guitar is a lot of fun.(.)
(2)She doesn't want to go out.(.) (3) It is necessary for us to decide a goal.(.)
(4)My father stayed up late to watch a soccer game.(.)
- ③ (1)I don't want to visit foreign countries.
(2)Is it easy for him to speak Chinese?
(3)I was surprised to hear the news.
- ④ (1)音楽祭を開催する計画があります。
(2)Could you bring me some water, please?

考え方

- ① (1)与えられた文は「私は彼女から甘いお菓子のレシピを習うためによく祖母を訪れます。」という意味。祖母についてはShe is good at making them.の文で述べられているので、その文の直前にあるBが正解。
(2)前に動詞のlikeがあるので、その目的語にするために動名詞のseeingにする。(3)〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で「(人)が～することは…です」の意味になる。(4)直後の文に「その結果を聞いて私はとてもうれしかったです。」とあるので、「2等賞を勝ち取った」の意味になるwonのアが正解。(5)13文目で「その結果を聞いて私はとてもうれしかったです。」と述べているので、ウが正解。

全訳

私の好きな娯楽は、家族と友だちに甘いお菓子を作ることです。私が彼らに手作りのお菓子をあげるときに、彼らはとてもうれしそうです。私はそれを見るのが好きです。私は彼女から甘いお菓子のレシピを習うためによく祖母を訪れます。彼女はそれらを作るのが得意です。他の人たちに何かをしてあげることが私にとって楽しいです。なので、私の夢はパティシエになることです。私は学校の料理部にも所属しています。甘いお菓子は1月にたった1回ですが、新

しいレシピを習うことに興味があります。見るべき有名なお菓子のお店がたくさんあるので、いつかフランスを訪れたいです。(そこでは)クレープ、モンブランやシュークリームなどの本場のフランス菓子を楽しんで学べます。去年、私は全国菓子選手権で2等賞を勝ち取りました。その結果を聞いて私はとてもうれしかったです。この経験は私にさらに自信を与えてくれました。

- ② (1)動名詞を使ったPracticing the guitarが主語の文にする。(2)「～したい」は名詞的用法の不定詞を使ったwant to ～で表す。(3)「私たちが～することが必要だ」は〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉で表す。(4)「～を見るために」は、目的を表す不定詞の副詞的用法で表す。
- ③ (1)want to ～の否定文ではdo not[don't]またはdoes not[doesn't]を使う。主語がIなのでdo not[don't]をwantの前に置く。(2)〈It is ... for + 人 + to + 動詞の原形〉を疑問文にするときは、isをitの前に置く。(3)「驚いた」はsurprisedで表す。be surprised to ～で「～して驚く」の意味になる。
- ④ (1)この文では形容詞的用法の不定詞が使われていて、to hold a music festivalがa planを修飾している。(2)「～していただけますか」はCould you ～, please?で表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (2)「～していただけますか」という依頼の表現を、Could you ～, please?を使って表せている。(8点)

出題傾向

*〈look + 形容詞〉などの〈主語 + 動詞 + 補語〉、〈give + 人 + もの〉などの〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉、〈call + A + B〉などの〈主語 + 動詞 + 目的語 + 補語〉の3つの文型などが問われる。

- ① (1)B (2)to (3)イ (4)彼は年老いているように見えましたが、健康そうでした。(5)エ
- ② (1)Her father looked tired(.) (2)She feels happy when (3)Can you send me an e-mail(?) (4)we call it suama
- ③ (1)Could you show me your dictionary?
(2)I will[I'll] give you time to think about it. (3)I call him Tom.
- ④ (1)どのバスが体育館に行きますか。
(2)I bought my sister a mug.

考え方

- ① (1)与えられた文は「でも、私はそれはカッコいいと思います。」という意味。4文目に「体じゅうにたくさんのとげがあるので、それはとても奇妙に見えると言う人もいます。」とあり、その直後のBに入れると話の流れに合う。(2)前が名詞のspinesで後ろが動詞の原形のprotectなので、toを入れて不定詞の形容詞的用法にする。(3)itが1匹のハリモグラを指し、Elmarは名前なので、「AをBと呼ぶ」の〈call + A + B〉の形にする。(4)〈look + 形容詞〉は「～に見える」の意味を表す。(5)3文目で「その体長はおおよそ30から45センチメートルで、大きなネズミのように見えます。」、6文目で「それに、それには自分を天敵から守るためのとげがあることを私は知っています。」などと述べていて、好きな動物についてよく知っていることがわかるので、エが正解。

全訳

私は動物が大好きです。それらの中で私が大好きな動物はハリモグラです。その体長はおおよそ30から45センチメートルで、大きなネズミのように見えます。体じゅうにたくさんのとげがあるので、それはとても奇妙に見えると言う人もいます。でも、私はそれはカッコいいと思います。それに、それには自分を天敵から守るためのとげがあることを私は知っています。なのでそれはとげが必要です。子どものとき、私はよく動物園に行きました。動物園には1匹の

ハリモグラがいて、私たちはそれをエルマーと呼びました。彼はえさを食べるために長い舌を使いました。私はそれを見るのが好きでした。昨日、私は久しぶりに動物園に行きました。エルマーはまだそこにいました。彼は年老いているように見えましたが、健康そうでした。私はほとんどのハリモグラが40から50年という長期間生きられることを知っています。ですが、私はできるだけ多く動物園に来続けることに決めました。次回は妹を連れて行って、彼女にエルマーを見せたいと思います。

- ② (1)「疲れているようだ」は〈look + 形容詞〉で表す。(2)「幸せを感じる」は〈feel + 形容詞〉で表す。(3)「私にメールを送る」なので、〈send + 人 + もの〉を使った〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉の文型にする。(4)「それを～と呼ぶ」なので、〈call + A + B〉を使った〈主語 + 動詞 + 目的語 + 補語〉の文型にする。
- ③ (1)「私にあなたの辞書を見せて」となるので、〈show + 人 + もの〉を使った〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉の文型にする。(2)「あなたに時間を与える」となるので、〈give + 人 + もの〉を使った〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉の文型にする。(3)「彼をトムと呼ぶ」なので、〈call + A + B〉を使った〈主語 + 動詞 + 目的語 + 補語〉の文型にする。
- ④ (1)Which bus goes to ~?は、「どのバスが～へ行きますか。」とたずねる表現。(2)「妹に～を買ってあげた」は、〈主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語〉の文型にして〈buy + 人 + もの〉を使って表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (2)「～に…を買う」を〈buy + 人 + もの〉を使って表せている。(8点)

出題傾向

*比較級・最上級・as ~ as ...の文と受け身の文などが問われる。

- ① (1)A (2)as (3)家族の中で彼女がいちばん愛されているような気がします。(4)エ (5)ウ
- ② (1)Her cake is bigger than mine.(.) (2)It is the tallest building in Japan.(.) (3) Listening to music is as important as studying for (4)Rakugo performances can be seen in that building.(.)
- ③ (1)The picture was painted by Alex. (2)This cleaning tool is as useful as that cleaner. (3)Those products can be bought at that store.
- ④ (1)この箱はいすとしても使われます。(2)I like playing the piano better than singing.

- ① (1)与えられた文は「彼女は私より人気もあるの。」という意味。「彼女」はアンの姉のクロエのことで、彼女についてはアンの最初の発言で説明されているので、そこにあるAが正解。(2)「クロエと同じくらいかわいい」という意味になるように、asを入れて(as + 形容詞 + as ...)の形にする。(3)is the most lovedで「いちばん愛されている」の意味になる。is lovedは受け身で、the mostは副詞muchの最上級。(4)Itは前の文のthis bookを指す。()の前がbe動詞のwasで、後ろが「～によって」を表すbyなので、受け身となるエが正解。(5)アンが最後の発言で「自分にあまり自信がないけど、あなたのような友だちがいるから、私って世界でいちばん幸せな人ね。」と言っているので、ウが正解。

全訳

アン：姉のクロエが先日生徒会長になったの。彼女は学校の成績がいいのよ。彼女は私より人気もあるの。彼女は何でもできるし、すべてを持っているわ。

ケイタ：そうなの？ ぼくはきみがクロエと同じくらいかわいいと思うよ。きみには長所がたくさんあるよ。きみは自分

考え方

身をだれとも比べる必要はないよ。

ぼくはそのままのきみが好きだよ。

アン：あなたってなんて親切な人なの。でも、家族の中で彼女がいちばん愛されているような気がして、ときどき落ち込むの。

ケイタ：そんなことないよ！ ほら、きみにこの本をあげるよ。それはアルフレッド・アドラーによって書かれたんだ。彼はこの分野で最も有名な心理学者の1人だったんだよ。それを読んできみが自信を取りもどせばいいと思ってるよ。

アン：ありがとう、ケイタ。自分にあまり自信がないけど、あなたのような友だちがいるから、私って世界でいちばん幸せな人ね。

ケイタ：ぼくはきみが最高だと思うよ！

- ② (1)「～より大きい」は比較級のbigger than ~で表す。(2)「日本でいちばん高いビル」は最上級のthe tallestを使って表す。「日本で」はin ~で表す。(3)「勉強するのと同じくらい大切だ」は(as + 形容詞 + as ...)で表す。(4)「見られます」は「見られることができる」と考え、助動詞を含む受け身のcan be seenで表す。
- ③ (1)目的語のthe pictureが主語となるので、受け身の文にする。文末にby Alexを入れる。(2)「…と同じくらい～」は(as + 形容詞 + as ...)で表す。(3)「買われることができる」は、助動詞を含む受け身の(can be + 過去分詞)で表す。
- ④ (1)is also used as ~のis usedが受け身で、「～としても使われる」の意味を表す。(2)「…よりも～のほうが好きだ」は、比較級を使ったlike ~ better than ...で表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (2)「…よりも～のほうが好きだ」をbetterを使って表せている。(8点)

リスニングテスト

〈解答〉

① There is[are] ~.

① (1)○ (2)× (3)× (4)○

ココを聞きトレ! There is[are] ~.の文は、「~」の部分にくる名詞とその数に注意。文の終わりに〈前置詞+語句〉の形で場所を表す表現がくるので、ものや人の位置を正しく聞き取ろう。

英文 (1)There is a bag under the table. There are some books on the table. (2)There is a clock on the wall. But there are not any pictures on the wall. (3)There is a bed by the door. Two cats are sleeping on the bed. (4)There are two girls in the room. One is watching TV. The other is reading a book.

日本語訳 (1)テーブルの下にかばんが1個あります。テーブルの上に本が何冊あります。(2)壁に時計が1個かかっています。しかし壁に絵は1枚もかかかっていません。(3)ドアのそばにベッドが1つあります。ベッドの上で2匹のネコが眠っています。(4)部屋の中に女の子が2人います。1人はテレビを見ています。もう1人は本を読んでいます。

② (1)イ (2)ア

ココを聞きトレ! それぞれの文が表す時と、もの数を正しく聞き取ろう。There is[are] ~.の文では、be動詞がwasやwereになると過去のことを表す。ten years agoやnowなど、時を表す表現も手がかりにしよう。

英文
Jane : Look, Ken. There were seven junior high schools in this city ten years ago.

Ken : Right, Jane. Now there are five junior high schools. We had two libraries ten years ago, but we have three libraries now.

Jane : Good. How about hospitals? There was only one hospital ten years ago.

Ken : Oh, we have four hospitals now. There is one near my house.

Questions : (1)How many libraries are there in this city?
(2)Is there a hospital near Ken's house?

日本語訳

ジェーン：見て、ケン。10年前、この市には7校の中学校があったのね。

ケン：そうだね、ジェーン。今は5校の中学校があるね。10年前には2つの図書館があったけれど、今は3つの図書館があるよ。

ジェーン：いいわね。病院はどう？ 10年前には1つの病院しかなかったわ。

ケン：ああ、今は4つ病院があるね。ぼくの家の近くにも1つあるよ。

質問：(1)この市にはいくつ図書館がありますか。

(2)ケンの家の近くには病院がありますか。

② 未来の表現

① (1)エ (2)ウ (3)イ

ココを聞きトレ! 未来の予定の聞き取りがポイント。willやbe going toは未来を表す表現。next Sunday, tomorrowなどの時間を表す語に注目し、その時間にだれが何をするのかを正しく聞き取ろう。

英文

(1)**Woman** : Kevin, I'll make sandwiches for you next Sunday.

Man : Thank you, Mom. I'll eat them in the park.

(2)**Man** : What are you going to do tomorrow, Yumi?

Woman : I'm going to play tennis. So today I'll study and clean my room.

(3)**Woman** : Are you going to do your homework after dinner, Ken?

Man : Well, I'll study in the library after school. I'm going to practice the guitar after dinner.

日本語訳

(1)女性：ケビン、次の日曜日、私はあなたにサンドイッチを作ります。

男性：ありがとう、お母さん。ぼくは公園でそれを食べます。

(2)男性：あなたは明日何をするつもりですか、ユミ。

女性：私はテニスをするつもりです。だから今日は勉強して、部屋をそうじします。

(3)女性：あなたは夕食後に宿題をするつもりですか、ケン。

男性：ええと、ぼくは放課後に図書館で勉強します。夕食後はギターの練習をするつもりです。

2 (1)エ (2)ア

ココを聞きトレ 時刻と登場人物の行動の聞き取りがポイント。質問文の what time は「時刻」をたずねる疑問詞なので、数字に特に注意しよう。登場人物が多い場合には、それぞれの人についての情報を整理してから選択肢を読もう。

英文 Hello, Jane. This is Rika. Emi and I will have a birthday party for Aya at my house next Saturday. The party will begin at three. I'm going to clean the room before the party. Please come to my house at one thirty and help me. I bought a CD for Aya yesterday. Emi is going to make a cake. Can you bring your camera and take some pictures at the party? Thanks. Bye.

Questions: (1) What time will Aya's birthday party start?

(2) What will Rika do before Aya's birthday party?

日本語訳 こんにちは、ジェーン。リカです。エミと私は次の土曜日に、私の家でアヤの誕生日パーティーを開きます。パーティーは3時に始まります。私はパーティーの前に部屋をそうじするつもりです。1時30分に私の家に来て、私を手伝ってください。私は昨日アヤのためにCDを買いました。エミはケーキを作るつもりです。あなたはカメラを持ってきて、パーティーで写真をとってもらえますか。ありがとう。さようなら。質問：(1)アヤの誕生日パーティーは何時に始まりますか。

(2)リカはアヤの誕生日パーティーの前に何をしますか。

③ 5つの文構造

1 (1)× (2)○ (3)×

ココを聞きトレ 動詞のあとにくる目的語や補語に注目しよう。だれがだれに何をするのか、だれがだれをどうするのかなどを正しく聞き取ろう。

英文

(1) Yesterday was my brother's birthday. I gave him a jacket, and my father gave him a camera.

(2) I visited Jun's house last week. He showed me his album, and his mother made us some cookies.

(3) My grandmother has a cat and a dog. She calls the cat Ken. And she calls the dog Sam.

日本語訳

(1) 昨日は私の兄弟の誕生日でした。私は彼にジャケットをあげて、私の父は彼にカメラをあげました。

(2) 私は先週ジュンの家を訪れました。彼は私に彼のアルバムを見せてくれて、彼のお母さんは私たちにいくつかクッキーを作ってくれました。

(3) 私の祖母は1匹のネコと1匹のイヌを飼っています。彼女はそのネコをケンと呼びます。そして、彼女はそのイヌをサムと呼びます。

2 ウ, エ

ココを聞きトレ

目的語の聞き取りがポイント。動詞の意味に注意し、だれがだれに何をするのかを正しく聞き取ろう。

英文

Makoto : Mr. Smith will go back to Canada next week.

Sally : I know. Are you going to give him a present?

Makoto : I'll give him some flowers. And you?

Sally : I'll write a letter and make a cake for him tomorrow.

Makoto : That's good! I want to make it with you.

Sally : Sure. Mr. Smith will be happy.

日本語訳

マコト：来週、スミス先生がカナダに帰ってしまうよ。

サリー：そうね。何か彼にプレゼントをあげるつもり？

マコト：ぼくは彼に花をあげるつもりだよ。君は？

サリー：私は彼に手紙を書いて、明日は彼のためにケーキを作るの。

マコト：それはいいね！ぼくも明日君といっしょにそれを作りたいな。

サリー：もちろん。スミス先生が喜ぶわ。

④ 接続詞

1 (1)イ (2)ウ (3)ウ

ココを聞きたい⑧ whenやifのあとにくる「時」や「条件」の内容に注意。時や条件とそれに対応する事柄の関係を正しく聞き取ろう。数字の聞き取りも重要なポイント。

英文

(1) **Man** : Were you watching TV when I called you, Miki?

Woman : No. I was helping my mother. She was washing the dishes.

(2) **Woman** : Will you play baseball tomorrow, Yuta?

Man : Yes. But if it rains, I will play the guitar in my room.

(3) **Man** : Is this pen five dollars?

Woman : Yes. But if you buy two pens, they will be eight dollars. And if you buy three, they will be ten dollars.

日本語訳

(1) 男性：ぼくが電話したとき、あなたはテレビを見ていましたか、ミキ。

女性：いいえ。私は母を手伝っていました。彼女は皿を洗っていました。

(2) 女性：あなたは明日、野球をしますか、ユウタ。

男性：はい。でも雨が降ったら、ぼくは部屋でギターをひきます。

(3) 男性：このペンは5ドルですか。

女性：はい。でも2本買えば、8ドルになります。そして3本買えば、10ドルになります。

2 オ, カ

ココを聞きたい⑧ 時を表す表現に注意し、時の経過を意識して英文を聞こう。sayやthink, hopeのあとに続く<that+文>は、言ったり思ったりする内容を表す。thatは省略されることも多いので注意。

英文 Yesterday, I visited my grandmother at the hospital. I bought some flowers for her before going there. When I arrived at the hospital, she was in her bed in her room. I gave her the flowers. She looked very happy. She said that she liked them

very much. I told her many things about my friends. When I left the hospital, she said, "Please come again." I think I will show her some pictures of my friends next time. I hope she will get well soon.

日本語訳 昨日、私は病院に祖母のお見舞いに行きました。私はそこへ行く前に、彼女に花を買いました。私が病院に到着したとき、彼女は部屋のベッドに寝ていました。私は彼女に花をあげました。彼女はとてもうれしそうでした。彼女はそれがとても気に入ったと言いました。私は友だちについて多くのことを彼女に話しました。私が病院を出るとき、彼女は「また来てね」と言いました。私は、次は友だちの写真を彼女に見せようと思います。私は彼女がすぐによくなってほしいと思っています。

⑤ 不定詞

1 (1)カ (2)オ (3)イ (4)ウ

ココを聞きたい⑧ 不定詞が表す動作の内容に注意して答えを選ぶ。不定詞は動作の目的を表したり、名詞を説明したりすることもあるので、正しく意味を理解しよう。

英文

(1) **Man** : Where is Jun?

Woman : He went to the sports shop to buy a soccer ball.

(2) **Woman** : Let's play soccer in the park, Jun.

Man : Sorry, Emma. I have a lot of homework to do.

(3) **Woman** : Did Jun play soccer with his friend in the park yesterday?

Man : No. He went to the library to borrow some books.

(4) **Woman** : What do you want to do next weekend, Jun?

Man : I want to see a soccer game at the stadium.

日本語訳

(1) 男性：ジュンはどこですか。

女性：彼はサッカーボールを買うためにスポーツ用品店に行きました。

(2) 女性：公園でサッカーをしましょう、ジュン。

男性：ごめん、エマ。やらなければならない宿題がたくさんあるんだ。

(3)女性：ジュンは昨日彼の友人といっしょに公園でサッカーをしましたか。

男性：いいえ。彼は本を借りるために図書館に行きました。

(4)女性：あなたは次の週末に何をしたいですか、ジュン。

男性：ぼくはスタジアムでサッカーの試合を見たいです。

- 2 (1)歴史を学ぶ (2)寺院を訪れる
(3)大仏を見る (4)和菓子を食べたい

ココを聞きトレ⑥ 不定詞の表す内容の聞き取りがポイント。あらかじめ空所の前後に目を通しておき、放送される英文の中から、必要な情報をもれなく聞き取るようにしよう。

英文

Takuya likes to learn about history. He went to Kyoto to visit some temples last month. It has a long history. There are a lot of things to see in Kyoto. Takuya visited many temples. They had some *Daibutsu*. Seeing *Daibutsu* was very fun for Takuya. Also, he ate some Japanese sweets at a shop. They were delicious. He wants to eat them again.

日本語訳

タクヤは歴史を学ぶことが好きです。彼は先月寺院を訪れるため、京都に行きました。それは長い歴史があります。京都には見るべきものがたくさんあります。タクヤはたくさんの寺院を訪れました。そこにはいくつかの大仏がありました。タクヤにとって大仏を見ることはとても楽しかったです。さらに、彼はお店で和菓子を食べました。それらはおいしかったです。彼はまたそれを食べたいと思っています。

⑥ 助動詞 / have to

- 1 (1)○ (2)× (3)×

ココを聞きトレ⑥ しなければいけないこと、してはいけないこと、しなくてよいことを正しく聞き取ろう。曜日や時刻の情報にも注意。

英文

(1)Kumi must write a letter to Mr. Brown in English. He doesn't understand Japanese, so Kumi must not use any Japanese. (2)Today is Saturday. Takashi's mother must work every Saturday, so

Takashi and his father have to make dinner every Saturday. (3)Emma usually practices tennis before class, so she has to get up at six. But on weekends she doesn't have to get up at six.

日本語訳 (1)クミはブラウン先生に英語で手紙を書かなければなりません。彼は日本語がわからないので、クミは日本語を使ってはなりません。(2)今日は土曜日です。タカシのお母さんは毎週土曜日に働かなければならないので、タカシとお父さんは毎週土曜日に夕食を作らなければなりません。(3)エマはたいてい授業前にテニスを練習するので、6時に起きなければなりません。しかし週末は6時に起きなくてよいです。

- 2 ア、カ

ココを聞きトレ⑥ 助動詞の意味に注意して、登場人物の予定を聞き取ろう。提案や申し出などの場面を正しく理解すること。日時や場所の情報を聞き逃さないようにしよう。

英文

Mary : Hi, Ryo. John and I will go to a movie tomorrow. Can you come with us?

Ryo : Yes, but I must do my homework first. Maybe I'll finish it in the morning.

Mary : OK. Let's go to the movie in the afternoon.

Ryo : Great. Shall I go to your house at one o'clock?

Mary : Oh, you don't have to come to my house. John and I will meet at the station. Shall we meet there at two o'clock?

Ryo : Sure. See you then.

日本語訳

メアリー：こんにちは、リョウ。ジョンと私は明日、映画に行くの。私たちといっしょに来ない？

リョウ：うん、でもまず宿題をしなくてははいけないんだ。たぶん午前中には終わるよ。

メアリー：わかったわ。午後には映画に行きましよう。

リョウ：いいね。1時にきみの家に行こうか？

メアリー：あら、私の家に来なくていいわ。ジョンと私は駅で会おうの。2時にそこで会いましょうか。

リョウ：わかったよ。じゃあそのときにね。

⑦ 動名詞

1 (1)ウ (2)工 (3)ア (4)才

ココを聞きたれ⑦ 動名詞が表す動作の内容に注意して答えを選ぶ。

英文

(1)**Man** : What is Mary's hobby?

Woman : Her hobby is listening to music.

(2)**Woman** : Does Mary play tennis well?

Man : Yes. She is good at it.

(3)**Woman** : Did Mary play tennis yesterday?

Man : No. She enjoyed swimming in the river.

(4)**Woman** : What do you like to do?

Man : I like singing songs.

日本語訳

(1)男性：メアリーの趣味は何ですか。

女性：彼女の趣味は音楽を聞くことです。

(2)女性：メアリーは上手にテニスをしますか。

男性：はい。彼女はテニスをするのが得意です。

(3)女性：メアリーは昨日テニスをしましたか。

男性：いいえ、彼女は川で泳ぐことを楽しみました。

(4)女性：あなたは何をすることが好きですか。

男性：ぼくは歌を歌うことが好きです。

2 (1)音楽家 (2)ピアノをひく (3)アヤといっしょに歌う (4)自分自身のCD

ココを聞きたれ⑦ 動名詞が表す内容に注意。あらかじめ空所の前後に目を通しておき、どんな情報が必要かを考えて聞き取るようにしよう。

英文

Hi. I'm Aya. I'm going to talk about my dream. I want to be a musician. I like playing the piano very much. Last month, I played the piano and sang some songs at the school festival. Many people enjoyed singing together with me. I was very happy. Of course I have to practice the piano very hard to be a musician. But I hope to make my own CD in the future. Thank you for listening.

日本語訳

こんにちは。私はアヤです。私は自分の夢につい

て話すつもりです。私は音楽家になりたいです。私はピアノをひくことが大好きです。先月、文化祭でピアノをひいて、何曲かの歌を歌いました。多くの人々が私といっしょに歌うことを楽しみました。私はとてもうれしかったです。もちろん、音楽家になるためには、私はとても一生懸命にピアノを練習しなければなりません。しかし、私は将来、自分自身のCDを作りたいと思っています。聞いてくれてありがとう。

⑧ 比較表現

1 (1)イ (2)ア (3)イ (4)ウ

ココを聞きたれ⑧ 比較の文では、何と何が比較されていて、その差がどうなのかを正しく聞き取ろう。比較級の語尾の-erや最上級の語尾の-est、比較の対象を表すthanや同じくらいであることを表すas ~ asなどの表現を聞き逃さないように注意。

英文

(1)Aya is eleven years old and Emi is ten years old. Kana is older than Aya.

Question : Who is the youngest of the three?

(2)Takeshi is taller than Ken. Jun is as tall as Takeshi.

Question : Which boy is Ken?

(3)The green bag is bigger than the blue one. The red one is the biggest.

Question : Which is the green bag?

(4)Mary runs faster than Emma. Kate does not run as fast as Emma.

Question : Which girl is Kate?

日本語訳

(1)アヤは11歳でエミは10歳です。カナはアヤより年上です。

質問：3人の中で最も年下なのはだれですか。

(2)タケシはケンより背が高いです。ジュンはタケシと同じくらいの背の高さです。

質問：どの男の子がケンですか。

(3)緑のかばんは青いのより大きいです。赤いのは最も大きいです。

質問：緑のかばんはどれですか。

(4)メアリーはエマより速く走ります。ケイトはエマほど速く走りません。

質問：どの女の子がケイトですか。

2 (1) spring, best (2) Summer (3) Yes, does (4) brother

ココを聞きトレ④ betterやbestなどの比較表現を正しく聞き取ろう。人名や季節名がポイントになるので、1度目の放送で聞き逃した情報は2度目の放送で確認しよう。

英文

Koji : Becky, which season do you like?

Becky : Well, I like spring the best, because there are a lot of flowers in spring. My parents and my sister like summer the best.

Koji : I see. I like winter better than summer. I can enjoy some winter sports.

Becky : Really? No one likes winter in my family. My brother likes fall the best.

Questions : (1) Which season does Becky like the best?

(2) What is the most popular season in Becky's family?

(3) Does Koji like winter better than summer?

(4) Who likes fall the best in Becky's family?

日本語訳

コウジ : ベッキー、きみはどの季節が好き？

ベッキー : ええと、私は春が最も好きよ。春はたくさんのお花があるから。私の両親と姉は夏が最も好きね。

コウジ : そう。ぼくは夏より冬が好きだな。冬のスポーツを楽しむことができるからね。

ベッキー : ほんと？ 私の家族ではだれも冬が好きじゃないわ。兄は秋が最も好きよ。

質問 : (1) ベッキーはどの季節が最も好きですか。

(2) ベッキーの家族で最も人気がある季節は何ですか。

(3) コウジは夏よりも冬が好きですか。

(4) ベッキーの家族で秋が最も好きなのはだれですか。

⑨ 受け身

① (1)ウ (2)エ (3)ア

ココを聞きトレ④ 受け身の文では、主語が行為をされる側になることに注意。whenのような接続詞を含む文があると1文の長さが長くなるので、情報を整理しながら聞き取るようにしよう。

英文 (1) This is used when you play a sport. The sport is played by two or four players. (2) These are used when we cook something. But we don't use them when we eat food. (3) This was used for taking pictures when I traveled in China. It was made in Japan.

日本語訳 (1)これはあなたがあるスポーツをするときに使われます。そのスポーツは2人または4人の選手によって行われます。(2)これらは私たちが何かを料理するときに使われます。しかし食べ物を食べるときにはそれらは使いません。(3)これは私が中国を旅行したとき、写真をとるために使われました。それは日本で作られました。

② (1)家族 (2)(約)500年前
(3)外国の人々 (4)伝統的な文化

ココを聞きトレ④ 受け身の表現に気をつけて、キーワードを正しく聞き取ろう。時の情報はwhenの疑問文のあとに言われることが多いので注意。

英文

John : How was your summer vacation, Aya?

Aya : It was great, John. I went to Kyoto with my family. I visited an old temple there.

John : Really? When was it built?

Aya : About five hundred years ago. We ate delicious food at a Japanese restaurant, too.

John : That's nice. I hear Kyoto is visited by a lot of people from other countries.

Aya : Right. Are you interested in traditional Japanese culture?

John : Yes. I hope I will go there soon!

日本語訳

ジョン : 夏休みはどうだった、アヤ？

アヤ : すごくよかったわ、ジョン。私は家族と京都に行ったの。そこで古いお寺を訪れたわ。

ジョン : ほんと？ それはいつ建てられたの？

アヤ : 約500年前よ。私たちは日本料理店でおいしい食事したわ。

ジョン : よかったね。たくさんの外国からの人々が京都を訪れていると聞くね。

アヤ : そのとおりよ。あなたは日本の伝統的な文化に興味がある？

ジョン : うん。すぐにそこに行きたいな！

⑩ 1年間の総まとめ

1 (1)イ (2)イ

ココを聞きトレ④ 比較表現や不定詞の表現を正しく聞き取ろう。スポーツ名や職業名など、ポイントになる単語を聞き逃さないように注意。

英文

(1) **Woman** : Do you enjoy playing baseball, Tom?

Man : Yes, Miki. But I like tennis better than baseball. I sometimes play soccer, too.

Woman : I see. I can't play soccer well. I like basketball the best.

Question : What sport does Miki like the best?

(2) **Man** : I like animals a lot, so I want to be a science teacher. Do you have a dream for the future, Jane?

Woman : Yes, Ken. My dream is to be a doctor and help sick people, so I have to study math hard.

Question : What does Ken want to do in the future?

日本語訳

- (1) 女性 : 野球をするのは楽しい、トム？
男性 : うん、ミキ。でも野球よりテニスのほうが好きだな。ときどきサッカーもするよ。
女性 : そう。私はサッカーが上手にできないの。バスケットボールが最も好きね。
質問 : ミキは何のスポーツが最も好きですか。
- (2) 男性 : ぼくは動物が大好きだから、理科の教師になりたい。きみには将来の夢がある、ジェーン？
女性 : ええ、ケン。私の夢は医師になり病人を助けること。だから数学を一生懸命勉強しないと。
質問 : ケンは将来何がしたいと思っていますか。

- ### 2 (1)美術館[博物館] (2)日本の絵画 (3)動物園 (4)パンダ (5)スタジアム[野球場] (6)野球の試合

ココを聞きトレ④ 曜日と登場人物の行動予定の聞き取りがポイント。themのような指示語が何を指しているかにも注意しよう。

英文

Kana : Are you going to visit your uncle in Tokyo soon, Mike?

Mike : Oh, yes, Kana. I'm going to stay there from Friday to Sunday.

Kana : Great. I went to the zoo in Tokyo last year. I saw pandas.

Mike : Really? I want to see them, too. I'll go there on Saturday. I'll visit a museum to see Japanese pictures on Friday.

Kana : What are you going to do on the last day?

Mike : Well, I want to watch a baseball game, so my uncle is going to take me to the stadium.

Kana : Sounds good. Enjoy your trip!

日本語訳

- カナ : もうすぐ東京のおじさんを訪ねるの、マイク？
マイク : ああ、そうだよ、カナ。金曜日から日曜日までそこに滞在するんだ。
カナ : いいわね。私は昨年、東京の動物園に行ったわ。パンダを見たのよ。
マイク : ほんと？ ぼくも見たいな。土曜日にそこへ行くよ。金曜日には日本の絵画を見るために美術館に行くつもりだよ。
カナ : 最終日には何をやるつもり？
マイク : ええと、野球の試合を見たいから、おじさんがぼくをスタジアムに連れて行ってくれる予定なんだ。
カナ : おもしろそうね。旅行を楽しんでね。

英作文にチャレンジ！ 〈解答〉

- 1 Kana did not like vegetables. One day, she visited her grandfather. He was taking care of vegetables. He taught her how to grow vegetables. She didn't know it was difficult to grow vegetables. She can eat vegetables now. She is glad that she can eat her grandfather's vegetables.

英作力UP↑ まず、絵から話の流れを考える。三段構成で話がまとまったら書き始める。1は

「Kanaは野菜が嫌いで食べられない」という場面。2は「野菜作りをしている人の大変さを知る」「野菜がどう育って食べられるようになるのかを学ぶ」という場面。3は、「野菜を食べられるようになった」という場面。それぞれのイラストから、状況や人々の感情を自由に考えて英文を作っていく。(It is ... + to + 動詞の原形)は「～するのは…です」という意味。howやwhatの疑問詞のあとに(to + 動詞の原形)が続くと、「どのように～するか」「何を～すべきか」という意味になる。

- ② Machu Picchu in Peru is a very beautiful place. It is recognized as a World Heritage Site. People often call it the “city in the sky” because it is in a very high place in the Andes Mountains.

英作力 UP ↑ その場所についての情報を短い文で表せるよう整理する。どこの国、または地域にあるのか、どのような印象を受ける場所なのかといった内容は書き始めやすい。どのような場所にあり、だれが建てたのか、どれだけの人があるかを訪れるかなどの情報を盛り込むとよい。また、その場所が何か特別な名前では呼ばれているのであれば、(call + A + B)「AをBと呼ぶ」の形でも表せる。

- ③ We must protect the Earth. We should use water more carefully. I am going to go to the beach cleaning event next Sunday. Do you want to join me?

英作力 UP ↑ 「～しなければならない」という意味の助動詞must, 「～すべきである」という意味の助動詞shouldや、「～するつもりです」など未来を表す表現方法を使って条件に合うように書く。家族に提案、誘うような文を入れるなどさまざまな言い方を試して書いてみる。

- ④ I want to win the Akutagawa Prize by the age of 18. The Akutagawa Prize is one of the most famous book prizes in Japan. In 2003, a 19-year-old woman won the prize. It is important to get the prize because I want to be a writer in the future. I want to be the youngest winner in history.

英作力 UP ↑ 具体的な目標を、それを達成したい年齢も考えて文を作る。by the age of ～, before I am ～ years oldで「～歳までに」という意味。理由を示す文は、becauseでつなげてよいし、(It is ... + to + 動詞の原形)「～するのは…です」という意味の文で説明してもよい。60語程度という語数制限に合うように、自分の考えを述べる。

- ⑤ 1. Ami is the best tennis player of the four. / Amy is the most popular character of the four. 2. I like Kevin better than Takaya. / Kevin is older than Ami. / Kevin is as tall as Amy. 3. I think Ami is nicer than Amy. / Takaya is a better baseball player than Kevin.

英作力 UP ↑ 「AはBよりも…だ」、「Aは～の中で最も…だ」といった文を作る。形容詞や副詞の語尾にer, estをつけて比較級・最上級を表す。長い形容詞にはmoreやmostをつける。また、good-better-best, little-less-leastなどの不規則変化する語も覚える。

- ⑥ I'm going to visit Australia with my family during summer vacation. I want to go to the beach. I will eat delicious dinner. I am looking forward to going to Australia.

英作力 UP ↑ まず質問への返答として、「～へ行く予定です」という文を(be going to + 動詞の原形)で作る。次に、そこで何をするつもりなのか、あるいは何がしたいのか、旅行前には何を用意しようと思っているのかなど、実際にある場所を想定して書いたり、空想の場所を思い描いて書いたりしてもよい。ただし、イラストに合うように書くよう気を付けること。

